

公益財団法人せたがや文化財団における令和4年度事業について

1. 事業計画

世田谷文化生活情報センター / 生活工房		世田谷文化生活情報センター / 音楽事業部	
市民活動支援コーナーの日々展	(3月16日) ~ 4月17日	シリーズ和・華・調	5月28日
世田谷パブリックシアター 開場25周年記念ポスター展	4月27日 ~ 5月25日	せたがや音楽研究所	10月1日
大竹英洋写真展 ノースウッズ 生命を与える大地	6月4日 ~ 7月10日	世田谷アーティスト支援企画 Discovery Setagaya Sounds	5年1月14日
シュー・ウィンドウ 靴を紐とく展覧会	7月19日 ~ 10月16日	室内楽シリーズ	7月2日 11月3日
岡本仁の編集とそれにまつわる何やかや。	10月25日 ~ 5年1月22日	せたがやジュニアオーケストラ	通年
続 セタガヤ・ママ通信 小さなメディアの40年	5年1月31日 ~ (4月23日)		
若年層向けセミナー「どう？就活」、連続セミナー「わたしとあなた のあわい」ほか		せたがやまちかど・まちなかコンサート、連携コンサートほか	
世田谷文化生活情報センター / 世田谷パブリックシアター			
倉持裕作・演出作品『お勢、断行』	5月11日 ~ 24日	生田みゆき演出作品 『建築家とアッシリアの皇帝』	11月 ~ 12月
五戸真理枝演出作品『毛皮のヴィーナス』	8月	海外招聘ダンス 「ピーピング・トム」	5年2月
りゅーとぴあ x 世田谷パブリックシアター 『住所まちがい』	9月 ~ 10月	新芸術監督就任イベント、フリーステージ(音楽部門・ダンス部門・バレエ部門)、移動劇場『@ホーム公演』、学校のためのワークショップ、こどもプロジェクト2022『お話の森』、『せたがや夏いちらくご』、アートタウン関連企画「カンパニーX Y」、『地域の物語』、野村萬斎演出作品ほか	
栗山民也演出作品『夏の砂の上』	10月 ~ 11月		
世田谷文化生活情報センター / 国際事業部			
せたがや国際交流センターの運営	通年	多文化理解講座	年9回
外国人のためのまち歩きツアー	年3回	【地域活動団体との連携事業】 イベント・講座などの合同実施、せたがや国際交流センターにおける団体紹介 ほか	通年
にほんご交流会	年3回		
世田谷美術館		世田谷文学館	
出版120周年 ピーターラビット™展	(3月26日) ~ 6月19日	ヨシタケシンスケ展かもしれない	4月9日 ~ 7月3日
こぐまちゃんとしるくまちゃん 絵本作家・わかやまけんの世界	7月2日 ~ 9月4日	朔太郎大全2022 萩原朔太郎展(仮称)	10月1日 ~ 5年2月5日
宮城壮太郎展 使えるもの、美しいもの	9月17日 ~ 11月13日	漫画家・山下和美 ライフ・イズ・ビューティフル展	7月30日 ~ 9月4日
祈りの軌跡・藤原新也展	11月26日 ~ 5年1月29日	コレクション展前期 開館25周年記念 セタブン大コレクション展PART II 山ありてわが人生は楽し	4月9日 ~ 9月11日
世田谷美術館コレクション選 わたしたちは生きている！ セタビの森の動物たち	5年2月18日 ~ (5年4月9日)	コレクション展後期 下北沢猫町散歩(仮称)	10月1日 ~ 5年3月31日
本館ミュージアム コレクション(前年度からの継続含め年4回)、各分館収蔵品展(年2回)	通年	ライブラリー「ほんとう」の運営 「ほんとうラジオ」放送(エフエム世田谷)	通年
講座・ワークショップ、鑑賞教室ほか		どこでも文学館(出張展示、ワークショップなどの教育普及事業)	通年
		ワークショップ、朗読会、コンサート、トークイベント、オンラインイベントほか	

事業名称及び開催日程は最新の情報を掲載しているため、事業計画書の内容と異なる場合があります。  
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況に伴い、事業計画が変更となる可能性があります。

## 2 収支予算内訳表(損益計算書ベース) 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	公2	小計	収1	収2	小計			
	文化芸術の振興、 地域文化創造活動 の支援及び教育普 及に関する事業	市民活動の支援 及び 振興に関する事業		物品販売事業	飲食物提供事業				
一般正味財産の部									
1 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	2,631,000	0	2,631,000
特定資産運用益	944,000	0	944,000	0	0	0	0	0	944,000
事業収益	1,182,276,000	340,000	1,182,616,000	44,247,000	3,645,000	47,892,000	0	0	1,230,508,000
受取区補助金	1,288,317,000	52,498,000	1,340,815,000	0	0	0	4,352,000	0	1,345,167,000
受取助成金等	170,823,000	0	170,823,000	0	0	0	0	0	170,823,000
受取寄附金等	1,000,000	0	1,000,000	0	0	0	0	0	1,000,000
受取負担金	6,374,000	0	6,374,000	336,000	5,935,000	6,271,000	0	0	12,645,000
雑収益	126,000	0	126,000	0	0	0	0	0	126,000
経常収益計(A)	2,649,860,000	52,838,000	2,702,698,000	44,583,000	9,580,000	54,163,000	6,983,000	0	2,763,844,000
(2) 経常費用									
事業費	2,720,960,000	53,174,000	2,774,134,000	43,630,000	6,760,000	50,390,000			2,824,524,000
管理費							9,239,000	0	9,239,000
経常費用計(B)	2,720,960,000	53,174,000	2,774,134,000	43,630,000	6,760,000	50,390,000	9,239,000	0	2,833,763,000
他会計振替前当期一般正味財産増減額(C)	71,100,000	336,000	71,436,000	953,000	2,820,000	3,773,000	2,256,000	0	69,919,000
他会計振替額(D)	1,804,087	0	1,804,087	455,712	1,348,375	1,804,087	0	0	0
法人税、都民税及び事業税(E)	0	0	0	149,186	441,488	590,674	0		590,674
当期一般正味財産増減額(F)=(C)+(D)-(E)	69,295,913	336,000	69,631,913	348,102	1,030,138	1,378,239	2,256,000	0	70,509,674
一般正味財産期首残高(G)	561,054,953	54,444	561,109,397	115,972,052	14,449,554	130,421,606	6,232,702		697,763,705
一般正味財産期末残高(H)=(F)+(G)	491,759,040	281,556	491,477,484	116,320,154	15,479,692	131,799,845	3,976,702	0	627,254,031
指定正味財産の部									
当期指定正味財産増減額(I)	0	0	0	0	0	0	0		0
指定正味財産期首残高(J)	0	0	0	0	0	0	805,844,000		805,844,000
指定正味財産期末残高(K)=(I+J)	0	0	0	0	0	0	805,844,000	0	805,844,000
正味財産期末残高(L)=(H+K)	491,759,040	281,556	491,477,484	116,320,154	15,479,692	131,799,845	809,820,702	0	1,433,098,031

令和4年度

公益財団法人せたがや文化財団

事業計画書

収支予算書

その他の付属書類

**公益財団法人 せたがや文化財団**

## 目 次

## (事業計画書)

1. 令和4年度事業方針 .....	1
2. 事業の体系 .....	6
3. 事業計画	
(1) 世田谷文化生活情報センター生活工房 .....	16
(2) 世田谷文化生活情報センター世田谷パブリックシアター .....	19
(3) 世田谷文化生活情報センター音楽事業部 .....	26
(4) 世田谷文化生活情報センター国際事業部 .....	28
(5) 世田谷美術館 .....	30
(6) 世田谷文学館 .....	35
(7) 財団共通 .....	38

## (収支予算書)

1. 収支予算（損益計算書ベース） .....	42
2. 収支予算内訳表（損益計算書ベース） .....	44

## (その他の付属書類)

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類 .....	51
-----------------------------	----



## 1. 令和4年度事業方針

新型コロナウイルス感染症の行動制限も段階的に緩和されるなど、厳しい状況を徐々に抜けつつあることが感じられる一方で、新たな変異株の出現による感染拡大など、依然として予断を許さない状況にあります。このような中であっても、世田谷区の令和4年度の予算編成状況を背景とし、財団の令和4年度収支予算は、経常収益が前年度比約3%（約7千万円）の増、また、経常費用が前年度比約3%（約9千万円）の増となっています。

令和2年度に開館25周年を迎えた文学館に続き、今年度は、世田谷文化生活情報センターが開館25周年を迎えます。財団は、今後も将来世代のために、長年にわたり培ってきたそれぞれの専門性や、総合力を活かした相互の連携などにより、柔軟で効果的な事業運営を展開いたします。例えば、生活デザインを提案する生活工房は、文学館との共催により、昨年度、土門拳賞を受賞した写真家・大竹英洋氏の写真展や、劇場部との共催での演劇公演のポスター展を開催します。また、世田谷パブリックシアターでは、新たな芸術監督の示す方向性に沿った事業の展開を図り、音楽事業部は、美術館の講堂でコンサートを開催するほか、これまで比較的なじみの少なかった地域での事業展開にも力を注いでまいります。

財団は、この間、「公益財団法人せたがや文化財団人材活用計画」等を策定し、人材育成に積極的に取り組み、持続可能な財団経営に向けた課題を解決すべく、職員の年齢構成の適正化や勤務形態や職層の見直しなど、労働環境の整備を進めてまいりました。今後も、これまでの成果の検証を進めながら、職員の発想力ややる気の向上等により、効率的で効果的な業務遂行・事業展開を実現してまいります。

引き続き、予算としても、事業を行う環境としても厳しい状況が続いていくことと思われます。そのような中であっても、文化・芸術は、人々の相互理解の土壌を醸成し、多様性を受け入れることができる心豊かな社会を形成するものです。時々の状況に応じた工夫を重ねながら各事業を展開し、文化・芸術が持つ力とともに、財団が有するその社会的役割を果たしてまいります。

### 《世田谷文化生活情報センター》

世田谷文化生活情報センターは、生活デザインを提案する「生活工房」、演劇とダンス公演を主に展開する公共劇場「世田谷パブリックシアター」、親しみやすく良質な音楽を提供する「音楽事業部」、外国人支援や交流を担う「国際事業部」の4部門からなり、今年度（令和4年度）開館25周年を迎えます。

区民の文化向上に寄与する創造的な文化施設であり続けるため、今後も地域の方々との関わりや幅広い分野とのコラボレーションを重視し、公演、展示、教育普及など様々な事業を展開するとともに、区の施策と連携しながら多文化共生の取組みも進めてまいります。

## ・生活工房

生活工房では、日常業務としてセミナールーム、ワークショップルーム、市民活動支援コーナーの施設管理運営を行う一方、区民の暮らしに身近な文化施設として、デザインやアート、生活文化を独自の視点で掘り起こし、「展覧会」「ワークショップ」「セミナー」等を展開します。

令和3年度に続き、4階ワークショップルーム A・B とコミュニティキッチン、世田谷区の新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場となるため、令和4年9月末日まで、主催事業による使用も、区民利用も停止されます。期間の延長も考えられることから、事業は通年4階以外の会場で行います。また、感染再拡大による中止や延期のリスクを回避すべく、配信環境を整え、対面とオンラインを効果的に活用していきます。展覧会は会期を長くし、財団の他部署や他館との提携事業を組み込むなど、制約のある中でもメリハリのある事業計画を目指しました。

生活工房ギャラリーでは、靴職人でもあるアーティストとともに、靴を題材にしたアートの展示とワークショップを一体的に開催し、夏休みを中心に子どもたちにもものづくりの楽しさを伝えます。また、雑誌編集者の岡本仁氏の仕事を通じ、編集の楽しさや創造性に触れる展覧会、1970年代後半から区内の小さなコミュニティ・スペースを中心に発行されたミニコミや、微弱電波を利用したミニFM等、市民による小さなメディアを考察する展覧会を行います。

提携展示では、世田谷文化生活情報センター開館25周年にちなみ、劇場部との共催で演劇公演のポスター展を開催します。また、令和3年に土門拳賞を受賞した写真家、大竹英洋氏が撮影した「ノースウッズ」の写真展を、世田谷文学館との共催で開催します。そのほか、令和3年度に大きな反響のあった若年層向けセミナー「どう？就活」の第2弾や、コロナ禍を経て「自分」と「他者」との距離や関係性を考えるセミナーシリーズ、区内で収集した8ミリフィルムのアーカイブ活用等にも取り組みます。また、市民活動に関する新たなトークイベントをシリーズで開催し、市民活動支援コーナーの活性化につなげます。

## ・世田谷パブリックシアター

新芸術監督のもと、新しい方向性を打ち出しつつ、豊かな地域社会の形成に資することを基本方針に、新型コロナウイルスへの万全の対策を行いながら、次の事業を進めてまいります。

公演事業として、優れた舞台作品の創造発信。国内交流・国際交流のネットワークの構築。日本文化を再認識し、国際文化交流を意識した事業の展開。

普及啓発事業として、文化芸術の体験、支援、教育および発表機会の提供。地域・行政との連携および協働。地域交流の活性化。

人材養成事業として、専門家、技術者、アーティストなど、次代を担う人材の育成。観客、劇場支援者の開拓、育成などを進めてまいります。

鑑賞機会の整備としては、各種割引制度の設定、託児サービスや障害者のための車椅子スペースの確保など様々な来館者サポートを実施します。また、新型コロナウイルスの影響により一時休止していた舞台説明会などのサービスについても状況を見つつ再開していきます。令和4年度は、特に若年の障害者向けのサービスの充実を試みます。さらに、英語による情報発信を強化するなど、多言語対応を着実に進めます。

また、SNSなどの新しいメディアも活用した広報宣伝活動を通じて、区内外に情報を広く周知し、地域の劇場／創造発信型劇場としての劇場の存在意義を高めるブランディング活動とともに、これら事業の充実した達成に向けて、国や公共機関、及び民間企業等の助成や協賛の獲得を積極的に働きかけるよう努力を続けてまいります。

そして、今後も、舞台芸術が持つ力と、劇場という場が備えている力を活用して、誰もが等しく芸術に親しみ、共有できる事業の展開を目指してまいります。

### ・音楽事業部(せたおん)

「新しい日常」を始める年です。新型コロナウイルス対策だけでなく、ワクチン接種による会場の制約や世田谷区民会館の改修工事もあり、施設のないせたおんには、厳しい日々が続きますが、万全の注意を払い、持続可能な事業展開を進めます。

多様な人たちと出会うために、新たな演奏会のシリーズ「ミュージック・ラウンジ」を始めます。働き盛り世代に向け、リラックスして音楽を楽しむ夜を提供します。前年度に試行した「世田谷アーティスト支援企画」は、独自性に富んだ内容が評判。前回使えなかった会場で、第2弾を開催します。

定番の事業では、「室内楽シリーズ」の回数を増やします。“オンドマルトノ”、“ピアノとドラム”という珍しい内容の響きをお楽しみいただきます。人気公演となった、日本の伝統音楽を紹介する「シリーズ和・華・調」は、清元を取り上げます。池辺晋一郎音楽監督の「異分野とのコラボレーション」、宮川彬良スペシャル・プロデューサーの「せたがや音楽研究所」、2つのおなじみ看板企画は、これまでなじみの少なかった烏山地域を訪れます。街頭や小規模の公共施設など身近な場所で開く「まちかど・まちなかコンサート」は内容や場所を見直し、区民にもっと近づけます。

お待ちかねの参加型事業は、新企画「区民チャレンジ・ライブ」で、愛好家の輪が広がっていくことを目指します。また「音楽講座」を開始し、音楽の楽しみ方の幅も広がっていきます。世田谷フィルハーモニー管弦楽団と世田谷区民合唱団、支援しているアマチュア2団体が共演する「せたがや名曲コンサート」も4年ぶりに開催します。そして、核となる事業の「せたがやジュニアオーケストラ」は、活動に大きな制約を受けながらも、地道に力を蓄え、新年度は合宿も計画しています。東京フィルハーモニー交響楽団との連携による新たな運営体制を定着させ、大きな飛躍を図ります。

新・世田谷区民会館オープンも視野に入れ、区民のみなさんの「新しい日常」に、音楽の彩りを加えていきます。

### ・国際事業部

国籍、民族等の異なる人々が互いの文化の違いを認め合い、対等な関係を築いていけるよう、次の取組みを進めていきます。

せたがや国際交流センター(Crossing Setagaya)では、在住外国人が日本で暮らしていくための必要な情報を提供するとともに、困りごとを解決するためのご案内を行います。

国際交流活動団体の支援では、外国人に対する支援がスムーズにできるよう、団体間のネットワークの拡充、活動の活発化や相乗効果を高めてまいります。また、地域団体や学校が行う国際交流などの活動紹介を、国際交流センターを活用して行っていきます。

区民の方々が、日本と外国の文化の違い、考え方の違い、また、言語が違う中での情報の伝え方の方法などを学び、世田谷区で生活する同じ地域住民として、ともに活躍し、支えあうことができるよう多文化理解講座を開催します。また、「にほんご交流会」や「まち歩きツアー」など、外国人と日本人が交流できる場を提供してまいります。

これらの活動を通して、多くの方の多文化共生への理解を広げ、区民の方々の意欲と能力を、外国人支援や交流に活かしていける地域社会づくりに取り組んでまいります。

### 《世田谷美術館》

令和4年度も前年度に引き続き、感染症対策に万全を尽くし、安心してご来館いただける環境を整備してまいります。

企画展事業は、令和3年度から引き続くかたちで「出版120周年 ピーターラビット™展」を6月中旬まで開催いたします。世界中で愛されてきたピーターラビット™の誕生前夜までさかのぼり、その魅力を存分にお楽しみいただきます。7月から9月にかけては、「こぐまちゃんとしろくまちゃん 絵本作家・わかやまけんの世界」を開催します。さまざまな初公開作品もまじえ、わかやまけんの絵本作家としての仕事をご覧いただける機会です。9月から11月にかけては「宮城壮太郎展」(仮称)。デザイナー・宮城壮太郎の日常生活に寄り添ったデザインの数々をご覧いただきます。12月から2022年1月には、「祈りの軌跡・藤原新也展」を開催します。文筆家であり、写真家である藤原の独特な視点で撮影された写真作品をご覧いただきます。そして最後は、当館のコレクションの中から動物を題材とした作品を選び、「わたしたちは生きている！ ―セタビの森の動物たち」を開催。子どもから大人まで、こぞって生命の尊さ、そして生きることについて考えます。

収蔵品を活用したミュージアム コレクションは、本年度も3本の企画を実施します。また、分館3館においても、各2つの展覧会を開催し、収蔵作品を通じて、アートに親しんでいただける機会を広げます。

普及事業は対面形式のワークショップや講座が困難な状況であることから、映像コンテンツを制作し、これをオンライン配信するなど新たな手法をさらに充実させ、コロナ禍で大きな影響を受けてきた小学校鑑賞教室も、教育委員会、そして各校と創意工夫を重ね、状況に応じた児童への鑑賞の場を設けてまいります。そして、収容人員をコントロールしながら、講演会、コンサートなどの開催も進め、三密を避けつつ、美術館としての社会的使命を果たしてまいります。

## 《世田谷文学館》

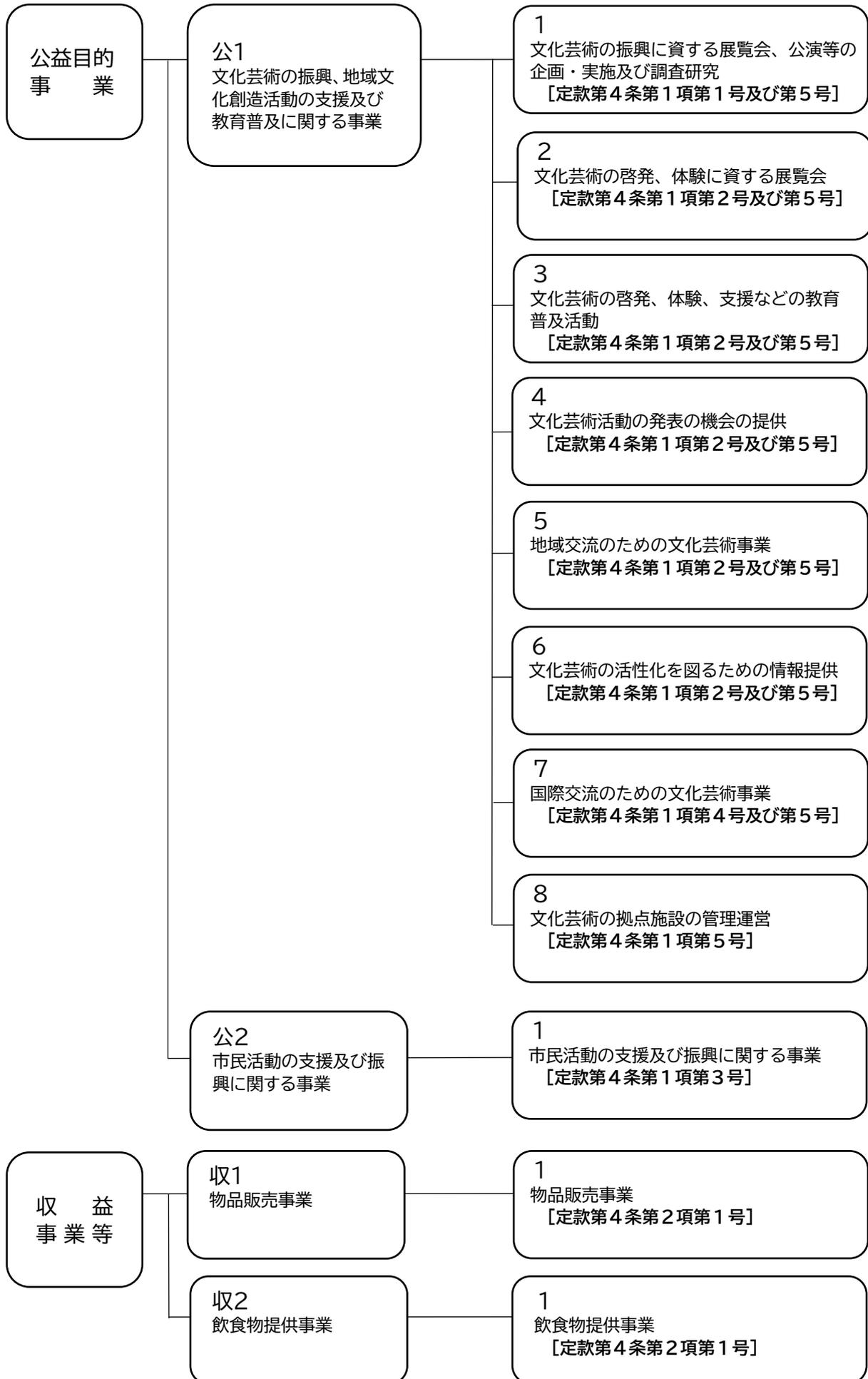
令和4年度の世田谷文学館は、ポスト・コロナに向けて、リアル／オンライン2方向での事業展開を目指します。

リアルで楽しんでいただく企画展は、大型展覧会2本と、話題の作家・作品を紹介する文学サロン展示の計3本を実施します。「ヨシタケシンスケ展かもしれない」は、今、最も幅広い世代に読まれている人気の絵本作家と組んだ初の大型企画展。「朔太郎大全2022 萩原朔太郎展(仮称)」は今年没後80年を迎える、世田谷ゆかりの詩人を顕彰する展覧会です。文学サロン展示は、令和3年度手塚治虫文化賞を受賞し、世田谷を舞台にした作品でも人気の「漫画家・山下和美 ライフ・イズ・ビューティフル展(仮称)」を開催します。コレクション展は、前期は昨年より引き続き「開館25周年記念コレクション展 PARTⅡ」、後期は「萩原朔太郎展」と連動して、下北沢ゆかりの作家たちの当館コレクションを紹介する展覧会を開催します。また好評をいただいている「どこでも文学館」の出張展示も、区内に加え全国各地でより積極的に展開していきます。

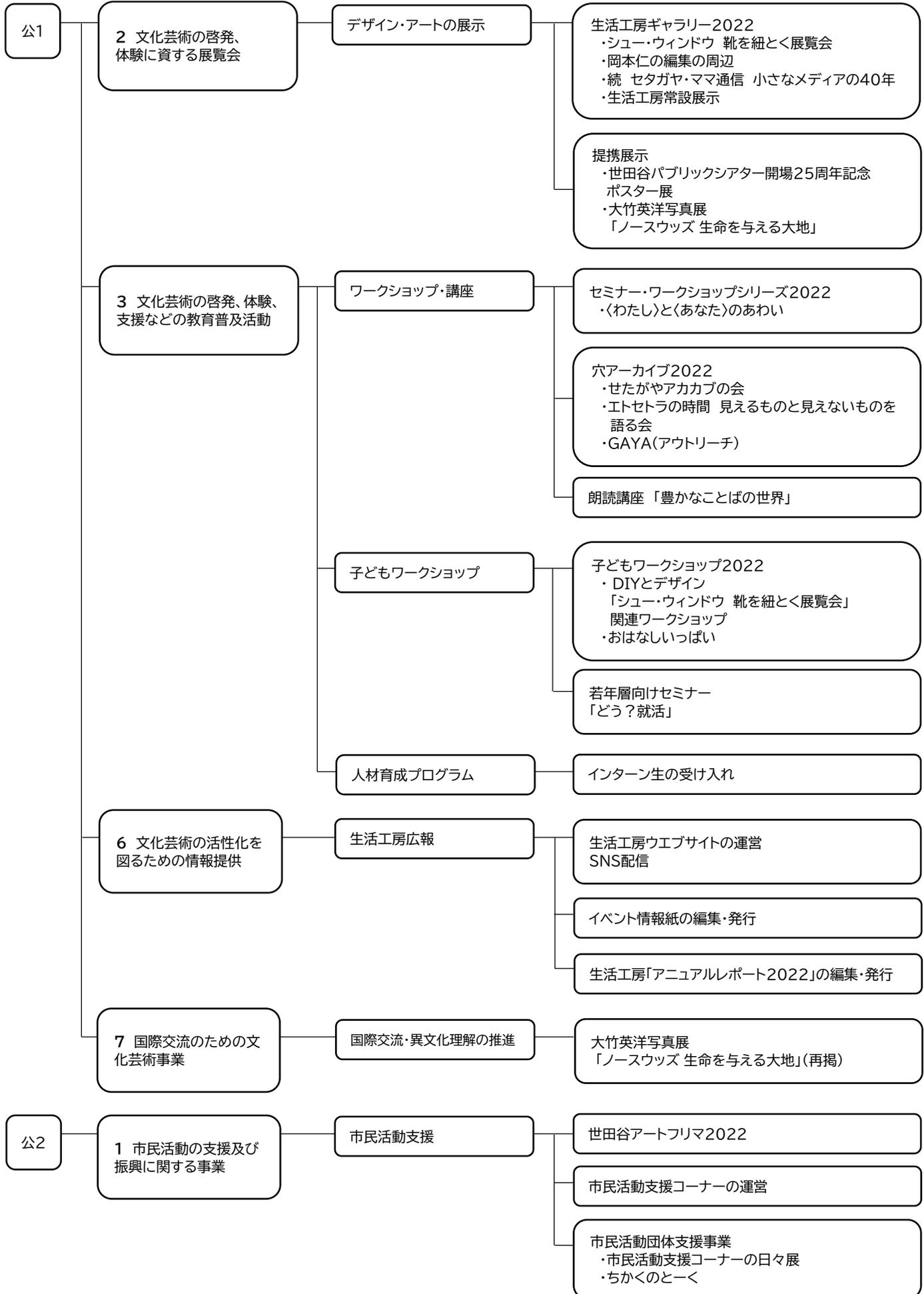
一方オンライン事業は、その利点を生かした講演会やワークショップを開催し、時間や場所の制限を受けずに参加できる内容と仕組みを構築していきます。その他、館の魅力をさまざまな媒体でお伝えする試みである「ほんとわラジオ」放送や、ホームページの新コンテンツ制作にも一層力を入れてまいります。収蔵資料の検索システム運用や資料紹介にも積極的に取り組みます。

世田谷文学館(セタブン)は、本年度も「もっと、いつでも、どこでも、だれでも」。セタブンがいつも身近に感じられ、利用者の心のよりどころとなる「サードプレイス」として親しまれますよう、力を尽くしてまいります。

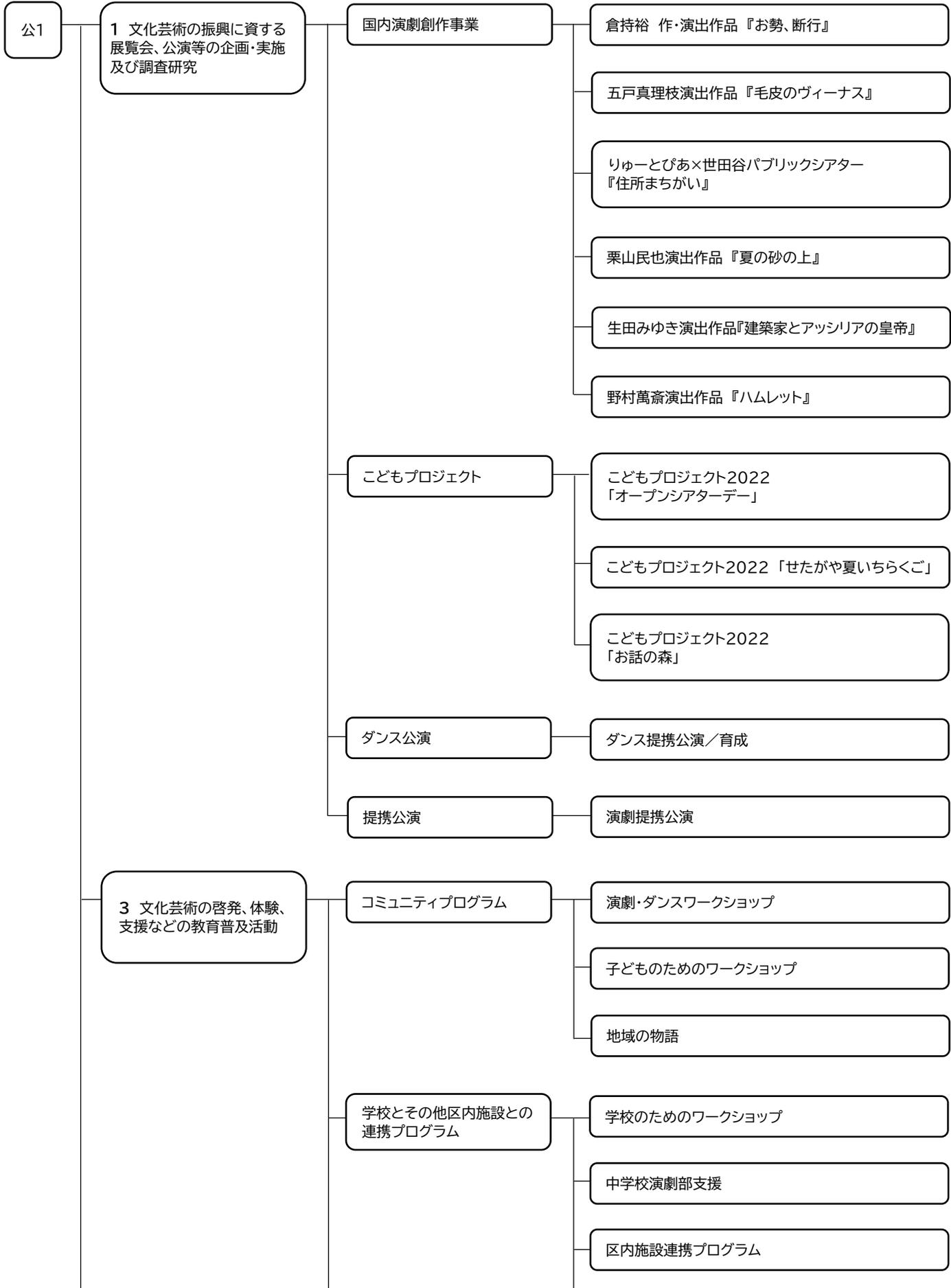
## 2. 事業の体系

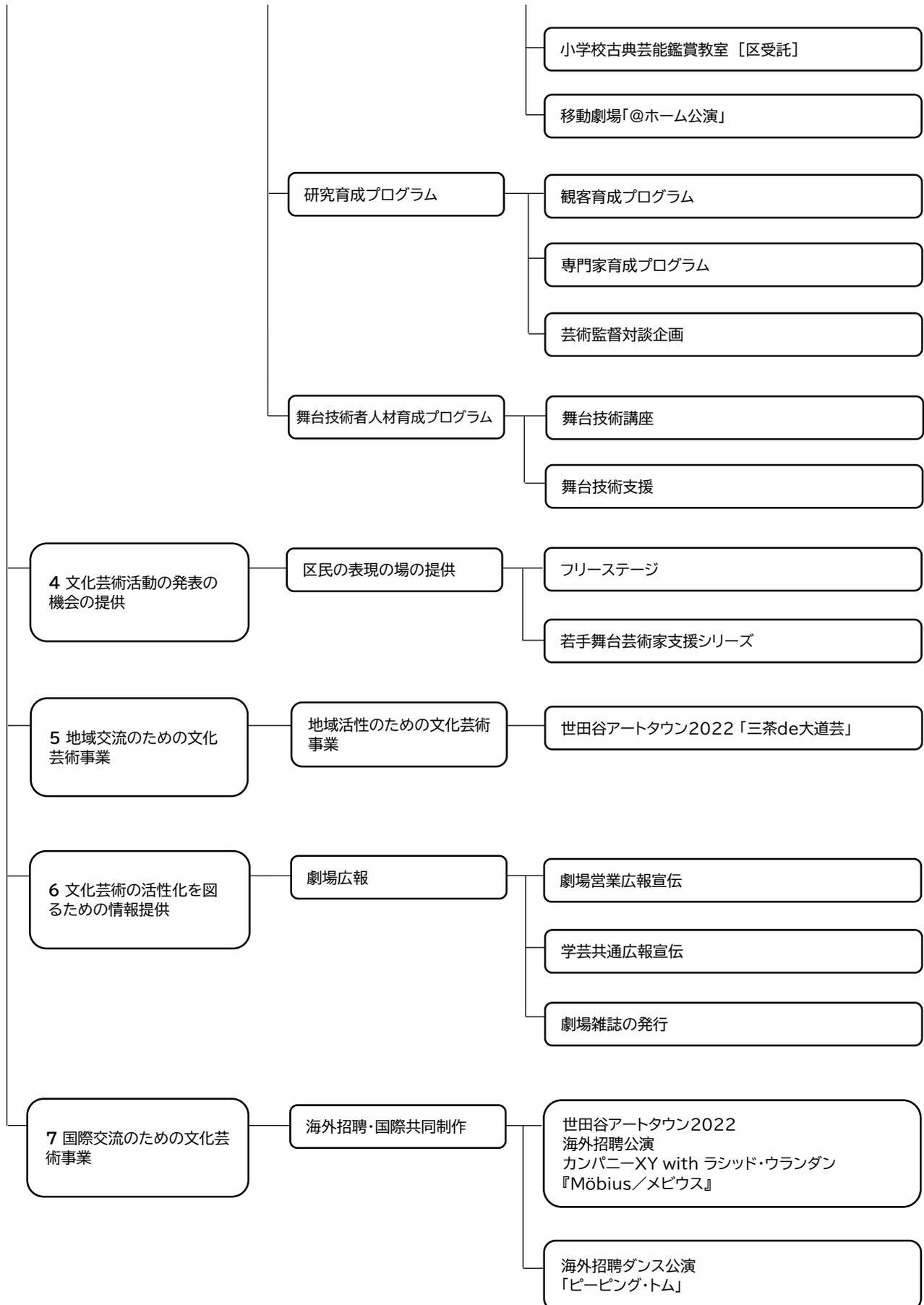


事業の体系 世田谷文化生活情報センター 生活工房

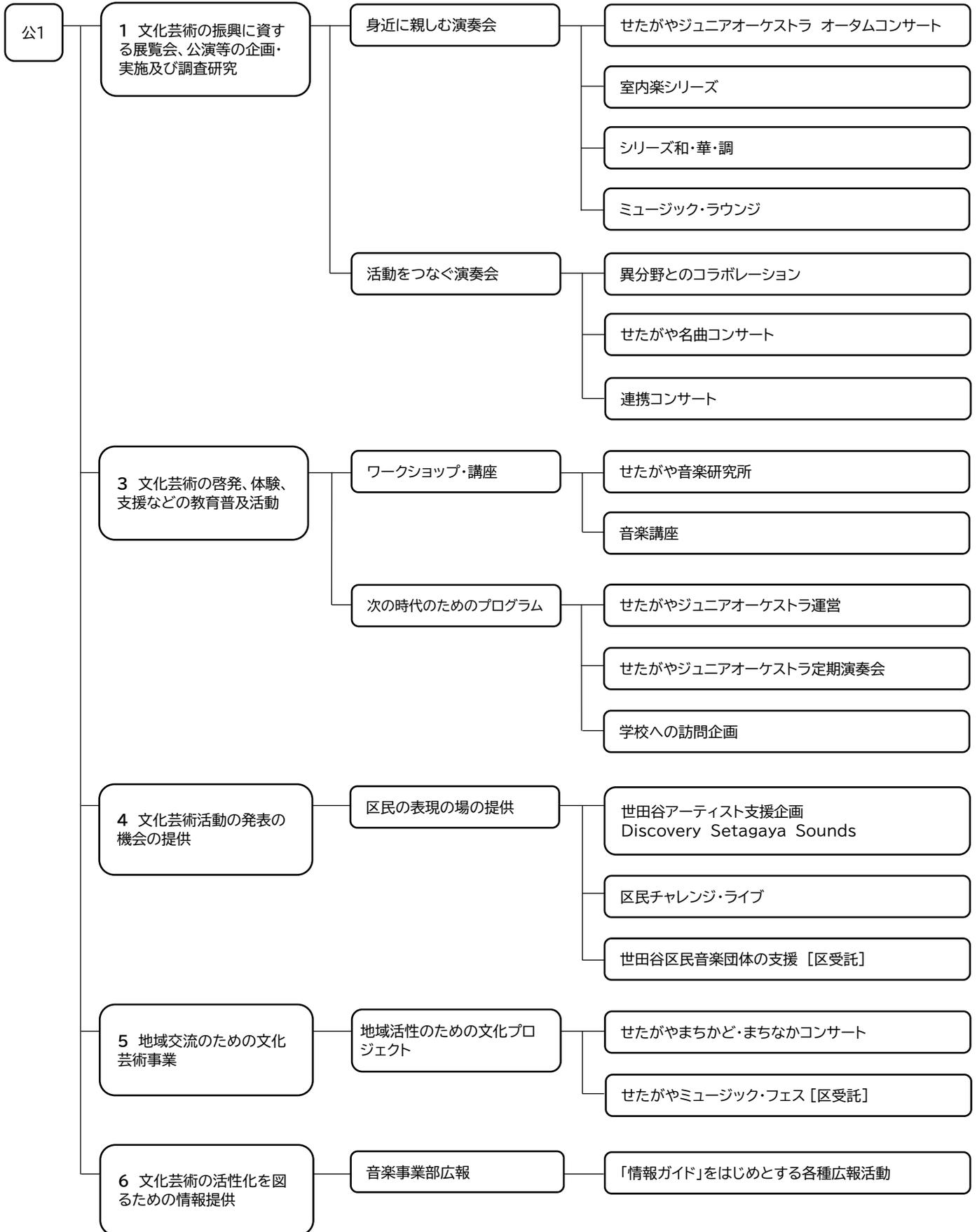


事業の体系 世田谷文化生活情報センター 世田谷パブリックシアター

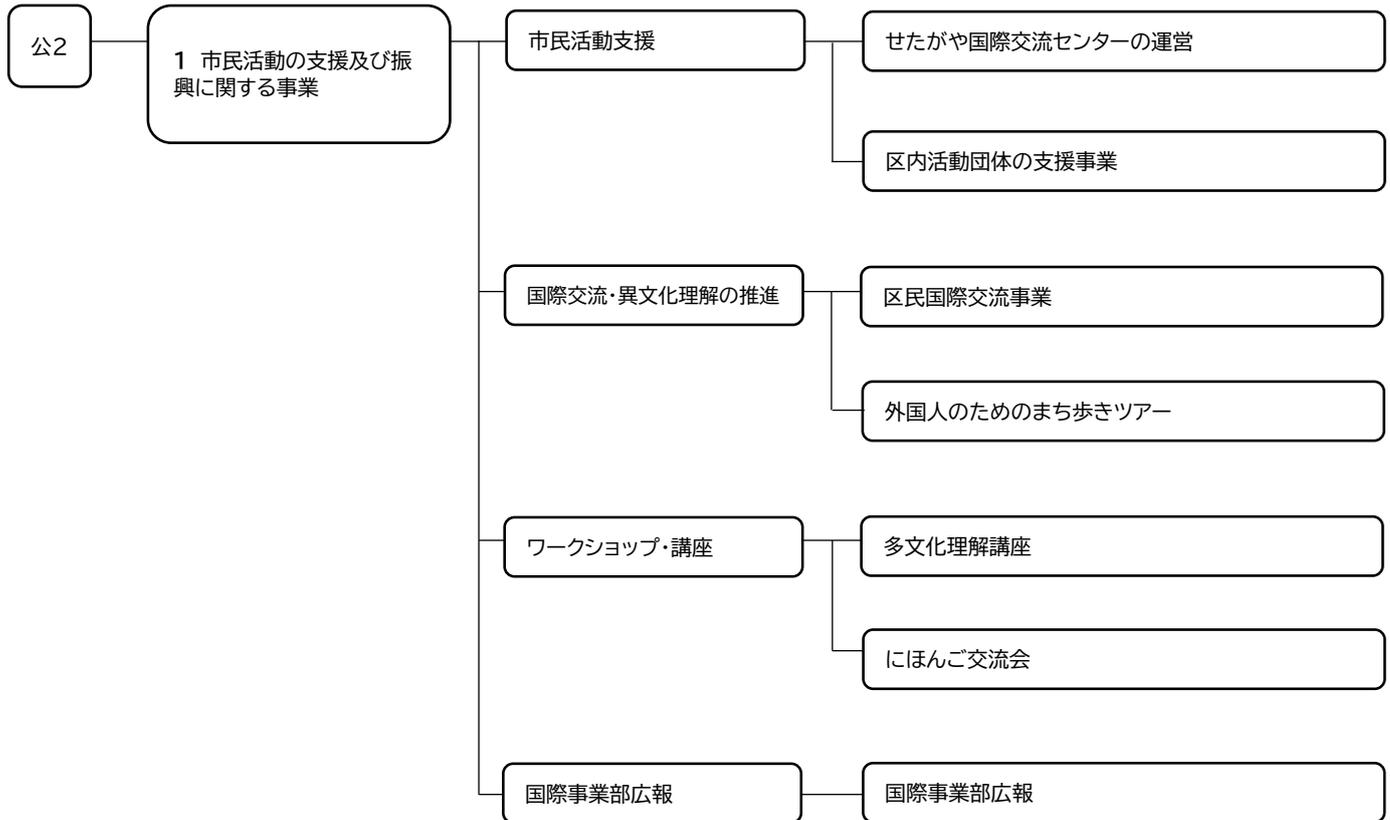




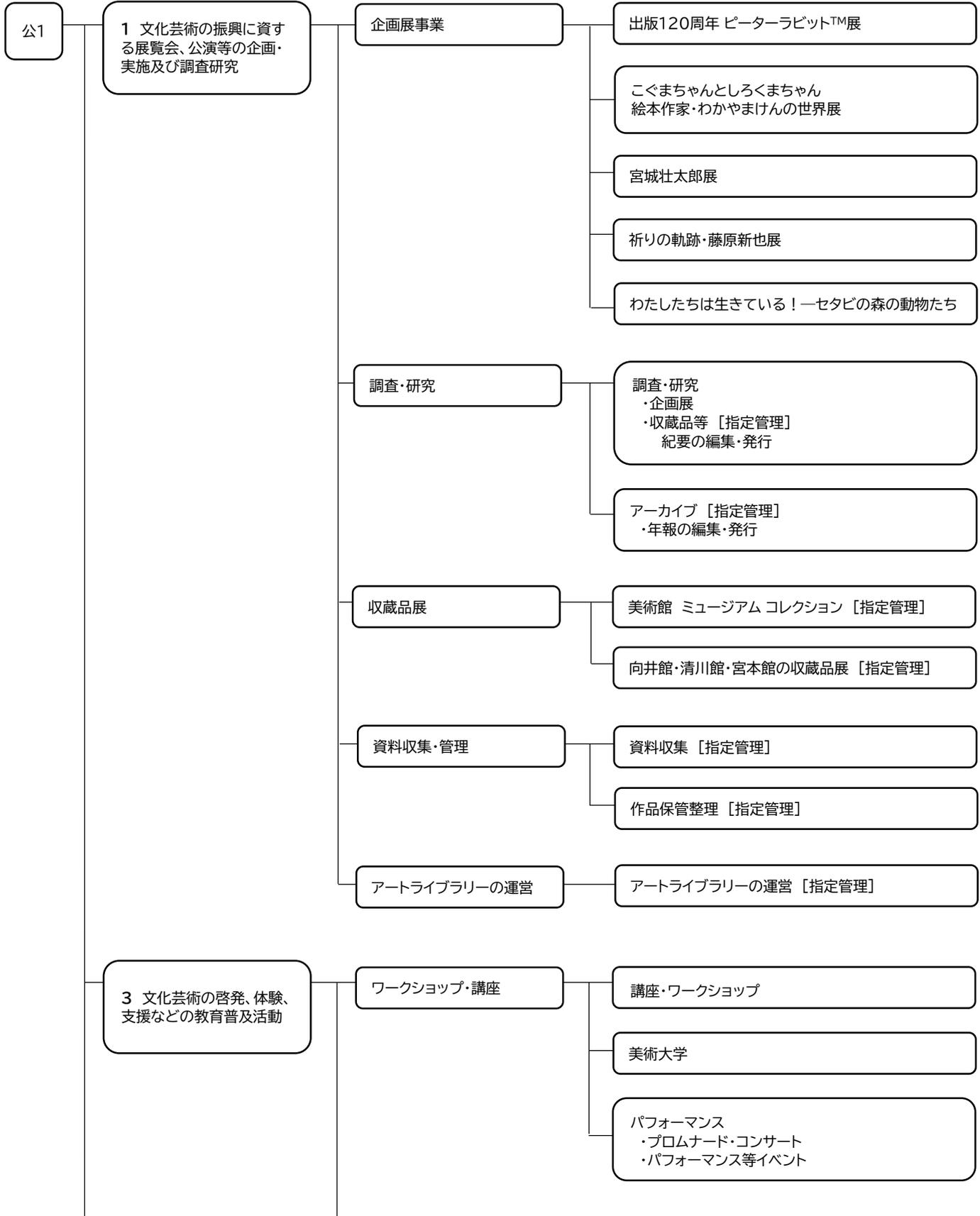
事業の体系 世田谷文化生活情報センター 音楽事業部

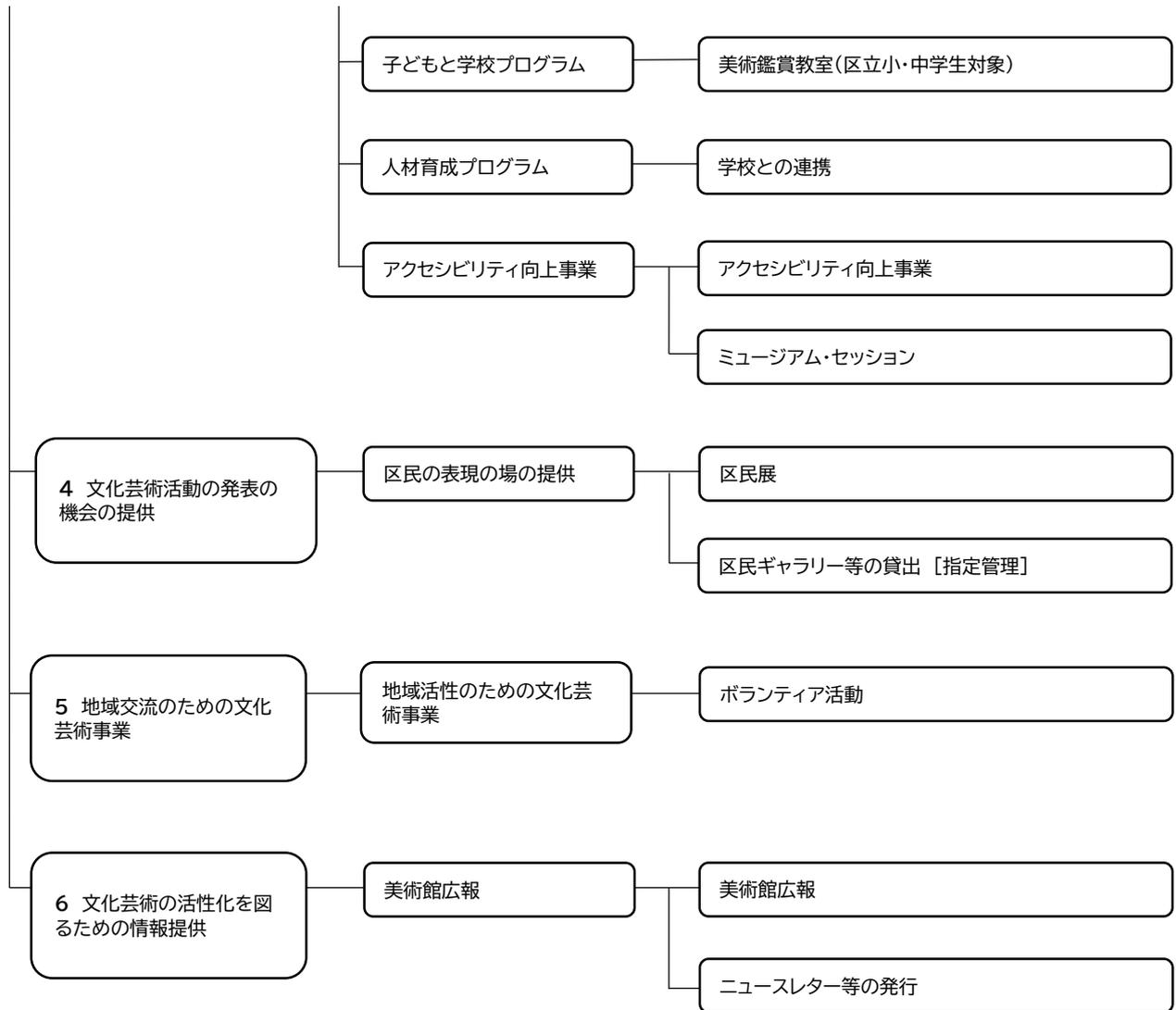


## 事業の体系 世田谷文化生活情報センター 国際事業部

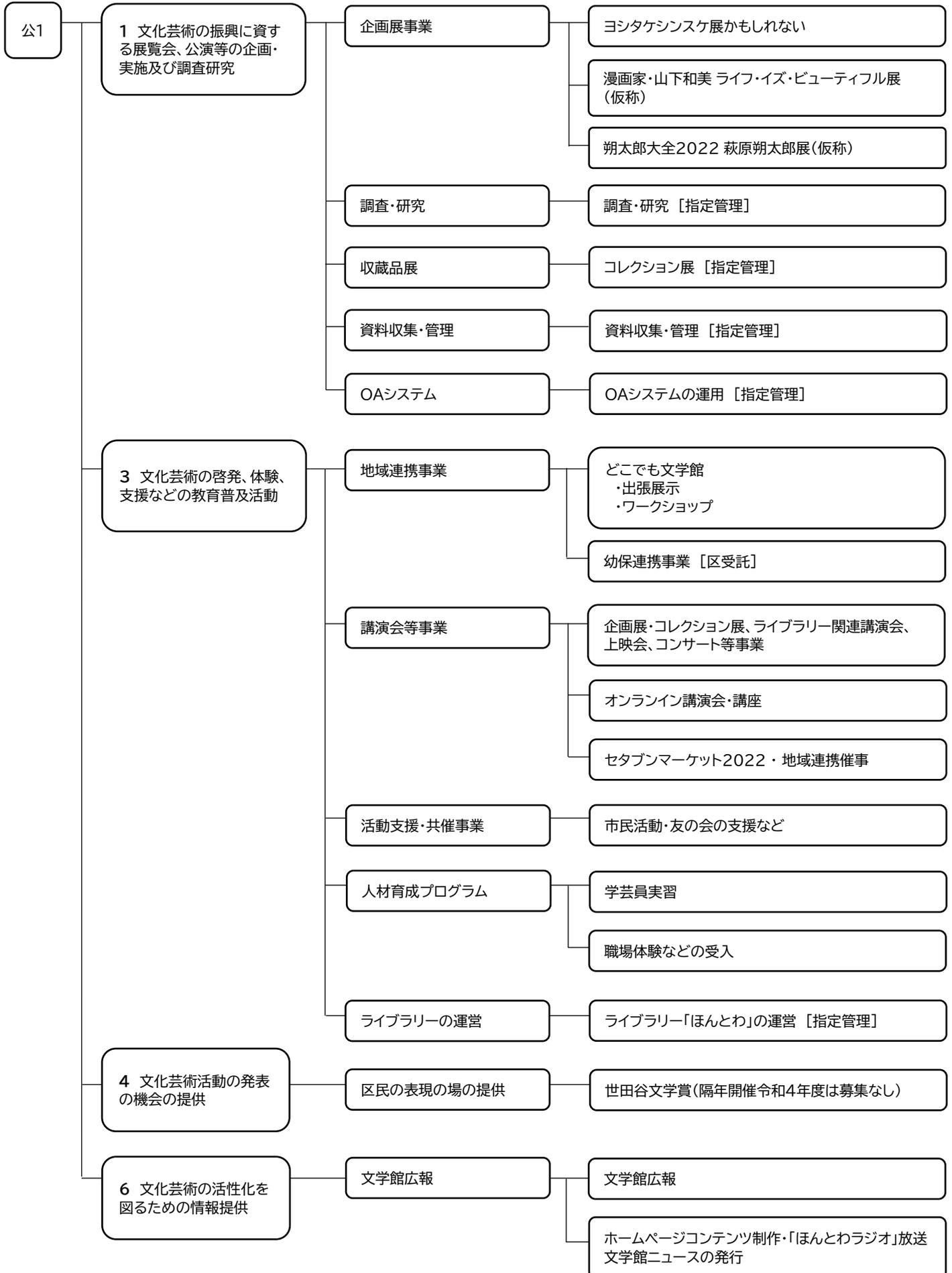


# 事業の体系 世田谷美術館

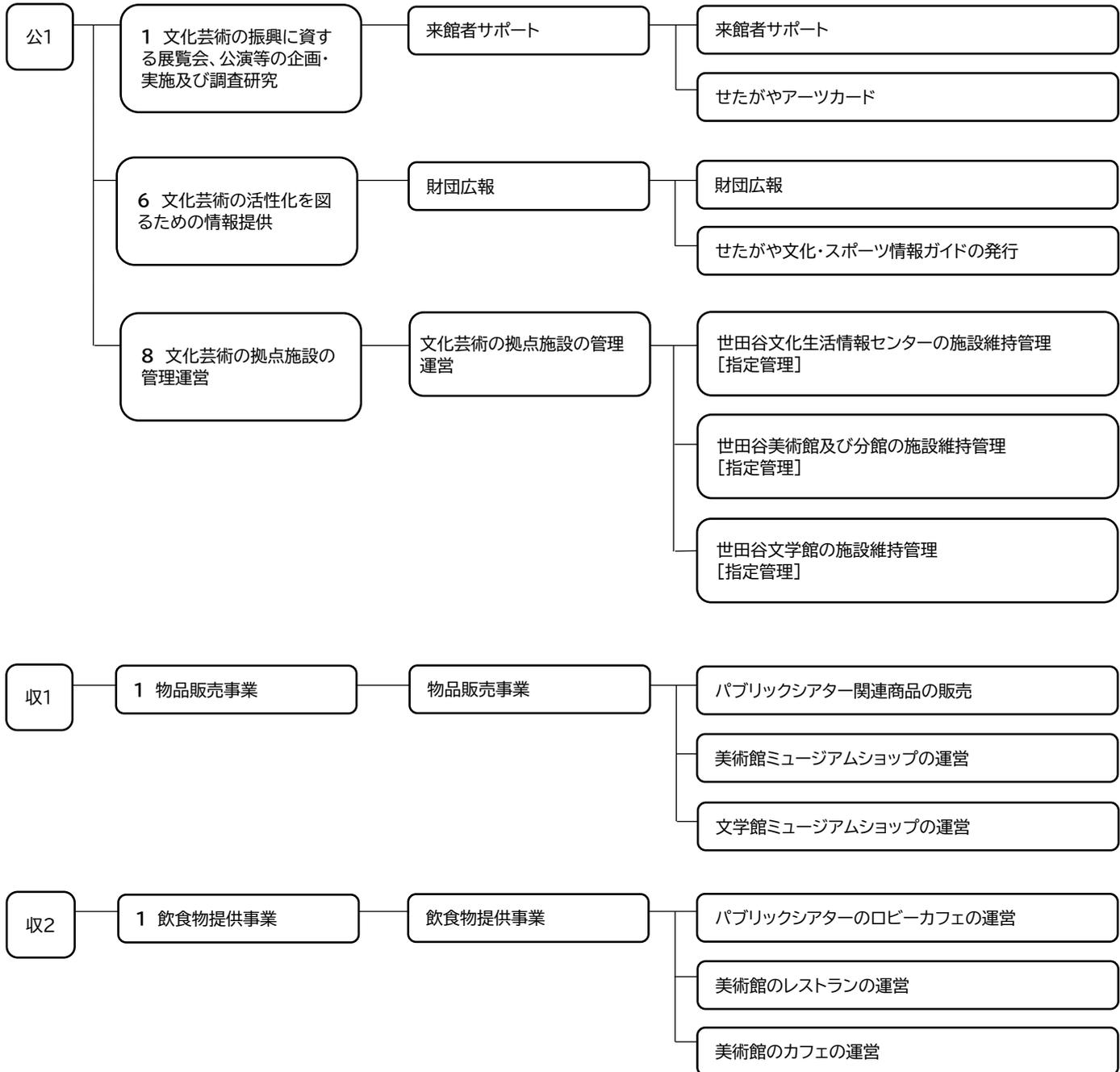




事業の体系 世田谷文学館



## 事業の体系 財団共通



# 事業計画書

### 3. 事業計画

#### (1)世田谷文化生活情報センター 生活工房

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
デザイン・ アートの展示	生活工房ギャラリー2022	地域の暮らしから異文化理解まで、幅広いテーマの展示事業を、生活工房ギャラリーで実施。関連してトークイベントやワークショップも開催。			
	①シュー・ウィンドウ 靴を紐とく展覧会	靴クリエイターを名乗る、アーティストの佐藤いちろう氏による展覧会。佐藤氏による「履けない靴」を展示するとともに、靴のつくり方も紹介する。	5,000人	7月19日～ 10月16日	生活工房ギャラ リー他
	②岡本仁の編集の周辺	「編集」をテーマにした展覧会。マガジンハウスで雑誌編集に携わってきた岡本仁氏の仕事を通じて、編集することの楽しさや創造性を紹介する。 企画の一環として世田谷美術館の所蔵品を題材にした冊子を制作し、そのプロセスを展示するとともに販売も行う。	5,000人	10月25日～ 5年1月22日	生活工房ギャラ リー他
	③続 セタガヤ・ママ通信 小さなメディアの40年	1970年代後半から、世田谷区にあったコミュニティ・スペース「セタガヤ・ママ」を中心に発行されたガリ版印刷のミニコミや、微弱電波を活用したミニFMなど、小さなメディアの活動を紹介する展覧会。	5,000人	5年1月31日 ～ (4月23日)	生活工房ギャラ リー他
	④生活工房常設展示	生活工房で実施した展覧会やワークショップを記録した写真、映像、資料などを公開し、閲覧できる可動的なコーナーで紹介する。	2,000人	通年	生活工房ギャラ リー他
	提携展示	他の施設や団体等との連携により企画展を開催する。施設利用の活性化を図るとともに、「生活デザイン」に関する多様な事業を展開する。			
	①世田谷パブリックシアター開場25周年 記念ポスター展	開場25周年を迎える世田谷パブリックシアターの主催公演から厳選した希少なポスター約70点を展示し、1997年のこけら落とし公演から2021年度までの約25周年の歩みを振り返る展覧会。(提携:世田谷パブリックシアター)	1,000人	4月27日～ 5月25日	生活工房ギャラ リー他
	②大竹英洋写真展 「ノースウッズ 生命を与える大地」	アメリカとカナダの国境付近から北極圏にかけて広がる湖水地方ノースウッズを、20年に渡り取材してきた大竹英洋の写真展。世界最大の原生林の一つでもある同地で撮影した写真を、世田谷文学館の「移動文学館」展示パネルによって紹介する。(提携:世田谷文学館)	1,000人	6月4日～ 7月10日	生活工房ギャラ リー他
ワークショップ ・講座	セミナー・ワークショップシリーズ2022  〈わたし〉と〈あなた〉のあわい	新たな視点から生活を見つめ、学びや気づきをもたらすセミナー・ワークショップのシリーズ。  哲学・科学・アートなど多分野の講師を迎え、近年注目される対話や語りをとおして《わたし(自己)》と《あなた(他者)》の間に生まれる自立でも依存でもない新しい関係について最新の理論と実例から考える連続セミナー。	250人	5年1月～ 2月	セミナールーム他

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所 <sup>23</sup>
ワークショップ・講座	穴アーカイブ2022	世田谷区民から募った8ミリフィルムのアーカイブ事業。現在、これまでにデジタル化した映像をオンラインで公開している。上映会や常設展示でも紹介し、映像から想起した個々人の記憶を収集、公開していく。	動画視聴 3,000回	通年	セミナールーム他
	①せたがやアカカブの会	8ミリフィルムの定期上映会。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、手紙によるリモート開催を行ってきたが、対面での実施に戻して実施予定(年3回)。	30人	通年	セミナールーム他
	②エトセトラの時間 見えるものと見えないものを語る会	視覚障害者と一緒に8ミリフィルムを鑑賞するプログラム。劇映画やドラマとは異なり、視覚障害者にとって筋のないホームムービーを見る経験は乏しい。あらためて、「みる」ということを考える機会を創出する(手話通訳付き)。	オンライン 20人	通年	セミナールーム他
	③GAYA(アウトリーチ)	東京都、アーツカウンシル東京、NPO法人remoと4者で共催する「GAYA」(令和元年度～)では、映像を「みる」「はなす」「きく」ワークショップを実施している。そのノウハウをもとに、地域に根ざしたアウトリーチ活動を展開する。	30人	通年	セミナールーム他
	朗読講座「豊かなことばの世界」	文学作品の朗読を通じて「ことば」のもつ力や自分自身の表現力の向上、朗読活動の一助となる機会を提供する。(提携:NHK放送研修センター)	240人	通年	セミナールーム
子どもワークショップ	子どもワークショップ2022	幼児から中高生、さらに若年層を対象に、デザインやコミュニケーションの体験などを通して、創造性を育む機会を創出する。			
	①DIYとデザイン 「シュー・ウィンドウ 靴を紐とく展覧会」 関連ワークショップ	「シュー・ウィンドウ」展の関連企画として子ども向けに開催。靴をつくる、または分解することを通じて、靴の仕組みからものづくりを学ぶワークショップ(全2回)。	60人	7月～8月	セミナールーム他
	②おはなしいっぱい<オンライン開催>	幼児から大人まで楽しめる朗読、素話、パネルシアターなど、区内30団体をネットワークする「世田谷おはなしネットワーク」によるお話会。活動団体のネットワーク構築と活性化を支援する。	オンライン 1,460人	8月24日～ 27日	セミナールーム他
若年層向けセミナー ①「どう？就活」	若年層を対象に、働くとはどういうことか、何のために働くのか？新時代の多様な「働き方や生き方」について、働き方研究家やゲストとともに学ぶセミナーの第2弾。	100人	10月～11月	セミナールーム他	

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所 <sup>24</sup>
人材育成プログラム	インターン生の受け入れ	近隣大学からインターン生を受け入れ、コミュニティや交流について事業の現場を体験する場を提供する。(2回)	2人	8月	—
生活工房 広報	生活工房ウェブサイトの運営・SNS配信	生活工房の施設案内、事業予定、募集情報、関連ブログなどを掲載し、情報を発信する。SNS (Twitter、Facebook Page、Instagram)と併せ、効果的に広報を展開する。	—	通年	—
	イベント情報紙の編集・発行	生活工房プログラムのスケジュール、事業内容を紹介する情報紙を発行する。	—	通年	—
	生活工房「アニュアルレポート2022」の編集・発行	年間のプログラムを記録した報告書。生活工房の活動を視覚的にわかりやすく紹介する冊子を発行する。(1回)	1,500冊	5年4月	—
国際交流・異文化理解の推進	大竹英洋写真展 「ノースウッズ 生命を与える大地」(再掲)	アメリカとカナダの国境付近から北極圏にかけて広がる湖水地方ノースウッズを、20年に渡り取材してきた大竹英洋の写真展。世界最大の原生林の一つでもある同地で撮影した写真を、世田谷文学館の「移動文学館」展示パネルによって紹介する。(提携:世田谷文学館)	1,000人	6月4日～ 7月10日	生活工房ギャラリー他
市民活動 支援	世田谷アートフリマ2022	区内のアーティスト、クラフト作家等に創作活動の発表、販売、及び区民との交流の場を提供する、区民参加型イベント。	1,000人	9月	セミナールーム他
	市民活動支援コーナーの運営	世田谷区内で活動する市民活動団体の支援を目的に、打合せスペース、プリントアウトスペースなどの場を提供。コーナーの運営は市民活動団体に委託。	7,000人	通年	市民活動支援コーナー
	市民活動団体支援事業	市民活動支援コーナーをベースに、市民活動の活性化を図るための事業を実施。	500人 (総計: 1,000人)	(3月16日)～ 4月17日	生活工房ギャラリー他
	①市民活動支援コーナーの日々展	日頃から市民活動支援コーナーを利用している団体が活動の成果を発表する展覧会。			
②ちかくのとーく	世田谷区内のソーシャルグッドに貢献する活動に取り組む団体、個人を招いて開催するトークシリーズ(3回)。	30人	通年	市民活動支援コーナー、セミナールーム他	

## (2)世田谷文化生活情報センター 世田谷パブリックシアター

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
国内演劇 創作事業	倉持裕 作・演出作品 『お勢、断行』	[原案]江戸川乱歩 [作・演出]倉持裕 主催事業「現代能楽集」シリーズや「お勢登場」の公演で世田谷パブリックシアターと縁の深い劇作家・演出家の倉持裕は、2004年の岸田戯曲賞受賞以降、テレビ、映画など多様なメディアで活躍する独特の切り口で世界を切り取る個性を放ちながら、不可思議な魅力をもつ演劇人として、演劇界の中核を担う存在に飛躍している。その倉持裕が江戸川乱歩の迷宮世界を舞台作品として創作し、上演する。(15回予定)	6,825人	5月11日～ 6月19日	パブリックシアター
	五戸真理枝演出作品 『毛皮のヴィーナス』	[作]デイヴィッド・アイヴス [演出]五戸真理枝 次世代の演劇人育成の一環として、若手演出者・五戸真理枝にシアタートラム公演『毛皮のヴィーナス』演出を委嘱し上演する。若手ながら巧みな人間洞察への手腕が光るのが特徴的な演出者である。幅広い年齢層の観客へ向けて刺激的で訴求力をもった演劇を立ち上げ、ライブな舞台の面白さを伝えることで、観客育成にもつなげていく。登場人物は演出家(男性)と女優の二人だけ。オーディションを受けに来た女優が劇場空間で演出家と議論しながら作品を分析していくという二重構造で、人が人に惹かれていく様を分析しながら追体験していくという面もあり、理性と欲望の戦いが、スリルに満ちた展開となっている。(15回予定)	2,306人	8月～9月	シアタートラム
	りゅーとぴあ×世田谷パブリックシアター 『住所まちがい』	[作]ルイーゼ・ルナーリ [上演台本・演出]白井晃 ミラノ・ピッコロ座の座付作家、ルイーゼ・ルナーリの上質な喜劇を、世田谷パブリックシアターの新芸術監督、白井晃が登場人物を日本人に翻案し、上演する。りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館との共同主催事業とし、公共劇場間のネットワーク形成・深化にも資する事業とする。(12回予定)	3,780人	9月	パブリックシアター
	栗山民也演出作品 『夏の砂の上』	[作]松田正隆 [演出]栗山民也 「薮原検校」「シャンハイムーン」「チャイメリカ」「殺意」「彼女を笑う人がいても」などの公演で当劇場主催公演において成果を上げてきた演劇界のトップランナー栗山民也が、平成10年に初演され、第50回読売文学賞(平成10年)を受賞した松田正隆の代表作「夏の砂の上」を現在によみがえらせ、現代日本社会に響くドラマを生み出す。世田谷パブリックシアターならではの優れた舞台芸術作品を発信する。(24回予定)	9,570人	11月2日～ 12月17日	パブリックシアター

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所 <sup>26</sup>
国内演劇 創作事業	生田みゆき演出作品 『建築家とアッシリアの皇帝』	[作]フェルナンド・アラバール [演出]生田みゆき 30代の若手演出家として注目の生田みゆきが、初のシアター・ドラマ演出作品に挑む。作品は、自らを「テアトル・パニック(恐慌の演劇)」と称し、1960年代の演劇に大きな影響を与えたフランスの劇作家アラバールの代表作『建築家とアッシリアの皇帝』。俳優のフィジカルな側面も活かしながら、「これこそ二人芝居の決定版」ともいふべき舞台を生み出す。絶海の孤島。飛行機が墜落し、唯一の生存者は自らを皇帝と名乗る。皇帝は、島に先住する一人の男を建築家と名付け、二人の奇妙な共同生活が始まるのだが……。(18回予定)	3,000人	11月～12月	シアター・ドラマ
	野村萬斎演出作品 『ハムレット』	[作]W・シェイクスピア [翻訳・脚色]河合祥一郎 [演出]野村萬斎 2002年から20年にわたり芸術監督の役割を務めてきた狂言師・野村萬斎ならではのシェイクスピア劇の上演を目指す。古典と現代劇を融合させ今日的な視点から新たな解釈で作品を創造するという萬斎が継続してきた作品づくりのテーマのもと『ハムレット』を上演する。共演と演出を通して、次世代の演劇人の育成に貢献し、公共劇場ならではの質の高い企画として広範囲な観客へ訴求力を持った公演を目指す。(13回予定)	5,502人	5年3月	パブリックシアター
子どもプロ ジェクト	子どもプロジェクト2022 「オープンシアターデー」	世田谷パブリックシアター開場25周年を記念し、芸術監督監修による子ども・親子に向けた新企画・世田谷パブリックシアターのオープンシアターデーとして、劇場の施設を広く観客に開放し、劇場に気軽に足を踏み入れてもらう機会の創出及び舞台芸術に関わる人々との交流の場を新たに設ける。これまで劇場の公演やワークショップに参加したことがある人にとっては新たな劇場の側面を知るきっかけに、これまで劇場に訪れたことがない人にとっては劇場について知ること、劇場をより身近に感じていただき、劇場への愛着・舞台芸術への関心を育むきっかけとなることを目指す。	500人	8月2日～7日	パブリックシアター
	子どもプロジェクト2022 「せたがや夏いちらくご」	古典落語を扱いつつも現代の風刺を取り入れ大胆アレンジする作風と、とっつきやすい語り口で幅広い年齢層から多くの支持を集める春風亭一之輔がプロデュース。落語、お笑い、演芸などで活躍する芸人を招くことで、寄席芸能をより身近に感じることができ、テレビ等以外ではなかなか接する機会のない、伝統的・本格的な大衆演芸の面白さ、話芸のすばらしさを伝える内容とし、地域住民から幅広く来場者を得ることを目指す。また関連企画として子ども向けワークショップを実施するなど、鑑賞だけでなく、体験を通してプロの技や話芸の難しさ・楽しさを知ること、より多角的に寄席芸能に親しむ機会を創出する。(2回予定)	800人	7月30日	パブリックシアター

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所 <sup>27</sup>
こどもプロジェクト	こどもプロジェクト2022 「お話の森」	舞台をはじめ映像や音楽の分野で活躍しているアーティストが、選りすぐりの絵本を手に読み聞かせを行う。舞台にはスクリーンを設置し、絵本を大きく映し出す。さらに、音楽や演奏、トークもまじえ、劇場での楽しい一日を演出する。またロビーも「お話の森」専用の飾りつけをして、観客を迎える。はじめて劇場へ来る人も来たことがある人も、そして子どもとおとなと一緒に、舞台と一体になって楽しめるような、充実したプログラムを提供する。長引くコロナ禍において、子どもとおとなと一緒に、低料金で、気軽に、ワクワクしながら出掛けられる機会を提供する。(6回予定)	1,110人	7月	シアタートラム
ダンス公演	ダンス提携公演／育成	<p>気鋭の若手カンパニーからベテランまで、選りすぐりのダンスカンパニーと提携し、現代演劇と舞踊を専門として上演する劇場のレパトリーの多様性を創出する。創作活動を支援しながら、演劇的な要素や、音楽、美術など、異なるジャンルのアートとの出会いを提案し、世田谷でしか生まれ得ない新しい舞台芸術の創造を目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イデビアン・クルー</li> <li>・スズキ拓郎</li> <li>・スズキユキオプロジェクト</li> <li>・大駱駝艦</li> <li>・lal banshees</li> <li>・Noism</li> <li>・関かおり</li> </ul>	5,200人	通年	パブリックシアター/シアタートラム
提携公演	演劇提携公演	<p>気鋭の若手から長年の実績を誇るカンパニーまで、優れた演劇作品の上演実績がある劇団・ユニット・制作会社・団体等と提携し制作的な補助、広報宣伝協力等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・shelf</li> <li>・ハイバイ</li> <li>・Serial Number</li> <li>・シス・カンパニー</li> <li>・こんにやく座</li> </ul>	25,000人	通年	パブリックシアター/シアタートラム
コミュニティプログラム	演劇・ダンスワークショップ	<p>地域の人々が気軽に参加できるプログラムから、深く取り組むことのできるプログラムまで、多様な内容のワークショップを実施する。</p> <p>(1)「単発ワークショップ」1～2日単位で気軽に演劇や劇場を体験できるワークショップ。(「デイ・イン・ザ・シアター」)</p> <p>(2)「テーマ別ワークショップ」地域の課題等に演劇的手法を活用してアプローチしたり、劇場へのアクセスが阻まれている対象を設定して実施するワークショップ。(「乳幼児のためのWS」「高齢者ワークショップ」)</p>	512人	通年	稽古場他

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所 <sup>28</sup>
コミュニティプログラム	子どものためのワークショップ	<p>子どもを対象に、演劇ワークショップを実施する。</p> <p>(1)「夏休みWS」学校の長期休暇に合わせたWS。(14企画、3日間)</p> <p>(2)「世田谷パブリックシアター演劇部」年間を通じて、演劇づくりに取り組みたい中学生を対象に、1年を通してWSを企画。2学期には、作品をつくり発表することを前提としたワークショップを実施。作品は世田谷区立中学校演劇発表会等で発表する。(10名、4日間)</p> <p>(3)その他単発WS「ごちゃませWS」学齢で区切らないWSとし、子どもたちが年齢の違うグループと作業する機会を提供する。(2企画、3日間)</p>	620人	通年	稽古場他
	地域の物語	<p>区民を中心とした参加者たちが、現代社会が抱える社会的課題から考えられるテーマをもとに自分たちの住む社会・暮らし・地域について思考するワークショップを3か月をかけて実施する。最後には、作品としてまとめあげ、シアターラムにて広く地域の観客に向けて上演する。</p> <p>今年度は、昨年度に下馬地区アートプロジェクトで出会った高齢者や障害者たちに焦点をあて、「死にゆくこと」をテーマに、地域連携プログラムとも連動しながら企画を展開していく。(通年WS32日、発表会2回開催)</p>	参加者 320人 発表会 250人	通年	稽古場/シアターラム他
学校とその他区内施設との連携プログラム	学校のためのワークショップ	<p>世田谷区内の小中学校の児童・生徒・教員を対象に、以下の2つの事業を実施する。</p> <p>(1)『ワークショップ巡回団』:進行役やアーティストが学校へ出向き、演劇的手法を用いた演劇ワークショップを実施する。教科の学びに活かしていくために、内容は教員と相談をしながら決定していく。中心は教科「日本語」の支援となる。</p> <p>(2)『先生のためのワークショップ』:小中学校の教員が授業で活用するためのヒントとなるワークショップや事業報告会を年間を通じて劇場内外で実施する。今年度は特別プログラムとして、学校の先生を対象にLGBTQをテーマにしたワークショップを行う。</p>	8,135人	通年	世田谷区内の各小中学校/稽古場
	中学校演劇部支援	世田谷区立中学校教育研究会演劇教育研究部と連携し、区立中学校演劇部の活動支援を行う。(事前支援含め8日間予定)	150人	通年	世田谷区内各小中学校/区民会館他
	区内施設連携プログラム	<p>非営利の区内施設/団体(児童館、障害者支援施設、病院、集合住宅等)に進行役を派遣して、演劇的手法を用いたワークショップや参加型作品を、当該施設/団体と協働して施設利用者及び近隣住民に向けて実施する。また依頼に応じて、稽古場を提供し、劇場内でWSを実施する。</p> <p>今年度は、特に障害のある人々をサポートする福祉事業所などと連携していくことに焦点をあてる。また、前年度制作した参加型作品(フォーラムシアターやスゴクプロジェクト)をツアーする。(通年16回予定)</p>	200人	通年	世田谷区内の施設/稽古場

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所 <sup>29</sup>
学校とその他 区内施設との 連携プログラム	小学校古典芸能鑑賞教室 [区受託]	世田谷区立の小学校(全校)6年生を対象に、各学校体育館にて狂言ワークショップを実施。能狂言の発想や技能を体感し、日本固有の伝統芸能について関心を高める機会を提供する。(28回予定)	6,000人	6月～7月	世田谷区内 小学校体育館
	移動劇場「@ホーム公演」	劇場へなかなか足を運ぶことのできない、お年寄りや障害者が生活する場所へ、劇場から演劇を運んで上演する。観客は施設の利用者はじめ、家族、職員、近所に住む方々となる。プロの演出家、俳優が、誰にでも楽しんでもらえ、かつ移動可能なオリジナル作品をつくり、見ている人たちの目の前で演じる。また、音楽的要素を加えて、演じる人も見る人も一緒に楽しめる作品をめざす。(14回予定)	1,000人	6月～ 5年2月	区内特別養護老人ホーム、デイサービス、障害者施設
研究育成プログラム	観客育成プログラム	地域住民及び観客を対象に、主催公演関連のワークショップや作品の分析・舞台芸術についての知識を深める企画を実施する。(通年8回予定) ①世田谷パブリックシアターダンス食堂:現役のダンサーを招き、その理念やメソッドに触れるワークショップ及びトーク ②舞台芸術のクリティック:舞台芸術に対し批評的な視点を獲得し、その視野を広めるレクチャー及びゼミ	110人	通年	セミナールーム他
	専門家育成プログラム	学芸プログラムに興味のある大学生や進行役、研究者を対象に、人材育成を目的とした「SPTラボラトリー」を実施する。誰もが参加できる(オープンラボ)と、選抜された人々との(演劇ワークショップラボラトリー)から構成する。いずれもレクチャーやワークショップを組み合わせた実践形式のプログラムとする。(通年21回予定)	330人	通年	パブリックシアター/シアタートラム/稽古場/セミナールーム他
	芸術監督対談企画	芸術監督がホスト役となり、多彩なゲストを招き、お互いの専門分野を駆使しながら、共通する必要不可欠なもの=「表現の本質」を探っていく。舞台を「観る」に留まらず、より深く舞台芸術を楽しみたいと願っているお客様に向けて、その真髄を発信することを目指す。	150人	通年	パブリックシアター/シアタートラム/稽古場/セミナールーム他
舞台技術者 人材育成プログラム	舞台技術講座	次世代を担う舞台技術者やプランナー、デザイナーを対象に、舞台・照明・音響各分野で未経験者及び経験者向けの安全講座、各分野別プログラムを実施する。基礎編、安全セミナー編など多様なプログラムを設ける。(4講座予定)	250人	4月、 5年1月	パブリックシアター/シアタートラム
	舞台技術支援	劇場使用者等に対して、設備等の使用講習会を実施するとともに、プラン・オペレートや機材等の支援を行う。	—	通年	—

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所 <sup>30</sup>
区民の表現の場の提供	フリーステージ	世田谷区民を中心とした、音楽やダンスなどの文化活動を行なっている団体から出演団体の公募を行う。各団体と劇場スタッフが協力し、事前の打ち合わせやリハーサルなどの作業を重ねていき、世田谷パブリックシアター(ダンス部門)とシアタートラム(音楽部門)にて、それぞれ日ごとの成果を発表する。また、新型コロナウイルス感染症対策として、リハーサル・本番の開催日時を分散させ、1日あたりの参加者数や来場者数を例年の半数におさえるなどの工夫を行う。(5日間6回)	3,000人	4月28日～5月5日	パブリックシアター/シアタートラム
	若手舞台芸術家支援シリーズ	平成20年度より実施されてきた世田谷パブリックシアターによる、若い才能の発掘と育成を目的とした事業である「シアタートラム ネクスト・ジェネレーション」を、近年の若手実演家・実演団体の多様化する創作形態に合わせバージョンアップする。シアタートラムが次代を担う若手実演家・実演団体にとっての創造・活動の“拠点”となることを目指し、世田谷区から全国へ発信する長期的なプログラムを実施する。	1,240人	12月7日～12日、他	シアタートラム他
地域活性化のための文化芸術事業	世田谷アートタウン2022『三茶de大道芸』	三軒茶屋の街を舞台に、商店街の各所で大道芸のパフォーマンスなどを行う。三軒茶屋の活性化と地域の文化向上を図るため、地元商店街や町会等との実行委員会方式により実施する。2日間開催。(文生センター全体事業)	200,000人	10月15日、16日	三軒茶屋駅周辺商店街他
劇場広報	劇場営業広報宣伝	営業・広報宣伝活動を通じて世田谷パブリックシアターの事業を世田谷区内外に広く周知する。地域の劇場/創造発信型劇場としての当劇場の存在意義を高めるブランディング活動として各種メディアへの情報提供、ホームページや広報誌などによる情報発信を行い、主催事業への集客を図り財団の収益性の向上に資する営業活動を行う。	—	通年	—
	学芸共通広報宣伝	学芸で行われているワークショップ・レクチャー等の普及を進めるための広報物の作成や宣伝等の活動を、紙媒体ならびにホームページ(オンライン)を中心に展開する。	—	通年	—
	劇場雑誌の発行	各事業の成果を記載したアニュアルレポートを劇場雑誌として編集・発行する。2022年度は2021年度の事業を報告するための冊子を作成する。その他、必要に応じて事業ごとの活動を分析、記録、周知する劇場雑誌を編集・発行する。	1,000部	通年	—

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所 <sup>31</sup>
海外招聘・国際共同制作	世田谷アートタウン2022 海外招聘公演 カンパニーXY with ラシッド・ウランダン 『Möbius／メビウス』	フランスで人気を集め、2017年の来日公演でも話題となった現代サーカスカンパニーXYを招聘し、最新作の『メビウス』を上演する。 オリンピックの体操強化選手なども参加したアクロバットを中心とした演技に、日本でも人気の高いラシッド・ウランダン振付によるダンスの要素も取り入れ、ダイナミックかつ美しいパフォーマンスを披露する。 また、一般向けおよびプロフェッショナル向けのワークショップを併せて行う。 (3回予定)	1,110人	10月21日～23日	パブリックシアター
	海外招聘ダンス 「ピーピング・トム」	世田谷パブリックシアターが初めて日本に紹介し衝撃を与えた、国際的に人気の高いベルギー出身のダンスカンパニー、ピーピング・トムの新作公演。地域の高齢者を「特別キャスト」として招き、世田谷特別バージョンとして上演する。 作品を上演するとともに、ダンスワークショップやレクチャーなどの関連事業を実施。カンパニーの活動や、世界の動きを多角的に紹介することで、日本の観客にダンスパフォーマンスのすばらしさを、より深く知って頂く機会とする。(3回予定)	1,350人	5年2月	パブリックシアター

## (3)世田谷文化生活情報センター 音楽事業部

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
身近に親しむ 演奏会	せたがやジュニアオーケストラ オータムコンサート	親しみやすい曲目と趣向を用意して、せたがやジュニアオーケストラの練習の 成果を披露する。全体合奏を発表できる会場がないため、アンサンブル中心の 公演を行う。	250人	10月30日	烏山区民会館
	室内楽シリーズ	内外で活躍する演奏家による室内楽の演奏会シリーズ。「オンドマルトノ」(7 月)と「ピアノとドラム」(11月)の公演を実施する。	420人	7月2日 11月3日	北沢タウンホール /成城ホール
	シリーズ和・華・調	日本の伝統音楽を、第一級の音楽家による演奏に、親しみやすい演出を加え て、堪能していただく公演シリーズ。今年度は、清元を取りあげる。	420人	5月28日	成城ホール
	ミュージック・ラウンジ	大人がリラックスして楽しめるコンサートのシリーズ。会社勤め等で忙しく、生 の音楽に触れる機会の少ない人たちに向けて、肩の凝らない内容の演奏会を開 催していく。初回は、アコーディオンの音を届ける。	320人	6月17日 12月2日	北沢タウンホール
活動をつなぐ 演奏会	異分野とのコラボレーション	池辺晋一郎音楽監督が、様々な分野で活躍しているゲストを迎え、音楽にまつ わるトークと演奏を展開する、世田谷ならではの企画。今年度は、気象と音楽を テーマにする予定。	210人	5年3月18日	烏山区民会館
	せたがや名曲コンサート	世田谷フィルハーモニー管弦楽団と世田谷区民合唱団が共演する恒例のコン サート。実施にあたっては、両団と実行員会を形成して、運営にあたる。ブラーム スの「ドイツ・レクイエム」を演奏の予定。	1320人	5年2月19日	昭和女子大学人 見記念講堂
	連携コンサート	意義のある企画を選んで、他の団体と共同で開催するコンサート。多様な事業 を展開し、演奏・鑑賞、双方の面から活動を活発化する。	未定	未定	未定
ワークショップ ・講座	せたがや音楽研究所	宮川彬良スペシャル・プロデューサーが、奇想天外かつ独自の解釈で、音楽を 紐解いていく、楽しみながら学べる、バラエティ形式のコンサート。	300人	10月1日	烏山区民会館
	音楽講座	公演に困んだもの、また音楽にいろいろな角度から焦点をあてたものなど、区 民がいろいろな形で音楽の楽しさ、おもしろさ、奥深さに触れられるような講座 を開催していく。	60人	未定	未定

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所 <sup>33</sup>
次の時代の ためのプログ ラム	せたがやジュニアオーケストラ運営	子どもたちが、オーケストラ活動を通じ、情操や協調の精神を学び、豊かな人間性、社会性を身に付けることを目指す。楽器ごとのパート練習、全パートでの合奏練習などを年間通じて行う。今年度は合宿を実施する予定。	90人	通年	区内各所、川場村
	せたがやジュニアオーケストラ定期演奏会	年度末に、メンバー全員が揃って、一年間取り組んだ活動の成果を問う演奏会を開催する。同時に、広く区民にジュニアオーケストラへの関心を広げていくことを目指す。	800人	未定	未定
	学校への訪問企画	多くの子どもたちに身近に音楽を感じてもらうために、体育館などで開くコンサートやワークショップなどを通じて、学校に生の音楽を届ける。	1000人	未定	未定
区民の表現 の場の提供	世田谷アーティスト支援企画 Discovery Setagaya Sounds	世田谷区民の一流アーティストによる、世田谷区民に向けた、世田谷ならではの公演を実施する。これからの音楽を考え、これからの表現活動のきっかけをつくる。今年度は、トランペット奏者のエリック・ミヤシロに焦点をあてる。	290人	5年1月14日	玉川せせらぎホール
	区民チャレンジ・ライブ	広く区民から参加者を募って、予備審査を経て決まった出演者と共につくるコンサート。区民の愛好家に発表の場を提供すると共に、出演者間の交流を図り、音楽を親しむ人たちの拡大につなげる。	380人	5年2月5日	玉川せせらぎホール
	世田谷区民音楽団体の支援 [区受託]	世田谷フィルハーモニー管弦楽団、世田谷区民合唱団、世田谷区民吹奏楽団、3団体の活性化、発展を側面から支援する。	3団体	通年	—
地域活性の ための文化プ ロジェクト	せたがやまちかど・まちなかコンサート	区民が身近な地域で音楽を楽しめるよう、区内各所の比較的小規模の公共施設や街角などで、小編成のバンドなどによるコンサートを実施する。	2,000人	5月21日、 12月17日他	中町ふれあいホール、北沢タウンホール等
	せたがやミュージック・フェス [区受託]	区内で活動するアマチュア音楽団体を対象に、身近な地域のホールで発表する機会を提供する。ゲストにプロの音楽家を招き、区民が広く楽しめるコンサートにして、地域を盛り上げていく。	400人	9月18日 11月23日	成城ホール 玉川せせらぎホール
音楽事業部 広報	「情報ガイド」をはじめとする各種広報活動	ホームページ、「せたおんイベント」や「情報ガイド」、さらにはマスコミ等への情報提供を通じ、事業予定・内容等を広く区民へ発信するほか、戦略広報としての展開を推進する。	—	通年	—

## (4)世田谷文化生活情報センター 国際事業部

34

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
市民活動支援	せたがや国際交流センターの運営	主に、区内在住外国人の生活相談等の問い合わせに対する窓口案内などを行う。また、行政情報、生活・文化情報の他、国際交流などの地域活動団体の紹介を行う。	3,000人	通年	せたがや国際交流センター
	区内活動団体の支援事業	区内で多文化共生、国際交流、国際貢献活動をしている団体に対して、事業のPRや事業連携を行う。	20団体	通年	せたがや国際交流センター
国際交流・異文化理解の推進	区民国際交流事業	【せたがや国際メッセ】 区民が多様な文化を知り・触れることができ、参加・出展する区民団体等の活動をPRする場を提供する「せたがや国際メッセ」を区と共催で実施する。	未定	未定	未定
		【国際交流inせたがや】 区民と海外の人々の交流を目的とする事業「国際交流inせたがや」を、海外・国際研修旅行の参加者で結成された世田谷海外研修者の会と共催で実施する。	未定	5年2月11日	セミナールーム
	外国人のためのまち歩きツアー	文化施設や商店街、様々な地域イベントをめぐるツアーなどを企画し、世田谷区在住の区民や外国人が地域の魅力を発見しながら交流することで、地域で活動するきっかけをつくる。	40人	10月16日他	三茶de大道芸会場、他
ワークショップ・講座	多文化理解講座	外国人との交流を希望する在住外国人を含む区民を対象に、様々な国や地域の文化などを学ぶことができる講座を実施する。			
	①在住外国人が語る祖国と日本の違い1(仮)	在住外国人が、祖国の文化を紹介しつつ、日本で暮らしてきて体験したこと、感じたことなどを聞くことができる講座を実施する。	60人	4月16日	セミナールーム
	②地域活動団体が語る外国文化の話(仮)	地域で多文化共生や国際交流の活動をしている人が、日頃の活動で得た知識や体験を語ることで、様々な国や地域の文化を知ることができる講座を実施する。	60人	5月21日	セミナールーム
	③在住外国人が語る祖国と日本の違い2(仮)	在住外国人が、祖国の文化を紹介しつつ、日本で暮らしてきて体験したこと、感じたことなどを聞くことができる講座を実施する。	60人	6月18日	セミナールーム

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所 <sup>35</sup>
ワークショップ ・講座	④在住外国人が語る祖国と日本の違い3 (仮)	在住外国人が、祖国の文化を紹介しつつ、日本で暮らしてきて体験したこと、感じたことなどを聞くことができる講座を実施する。	60人	7月16日	セミナールーム
	⑤やさしい日本語によるコミュニケーション を学ぶ(仮)	日本語が少しだけ分かる外国人に伝わりやすい「やさしい日本語」を学ぶ講座、やさしい日本語で話すコツを楽しく学ぶ講座を実施する。	60人	9月10日	セミナールーム
	⑥地域活動団体が語る在住外国人の実情 (仮)	地域で多文化共生や国際交流の活動をしている人が、日頃の活動で得た知識や体験を語ることで、様々な国や地域の文化を知ることができる講座を実施する。	60人	10月8日	セミナールーム
	⑦在住外国人が語る日本の文化(仮)	在住外国人が、祖国の文化を紹介しつつ、日本で習得した文化を紹介する講座を実施する。	60人	11月12日	セミナールーム
	⑧地域活動団体が語る在住外国人の実情 (仮)	地域で多文化共生や国際交流の活動をしている人が、日頃の活動で得た知識や体験を語ることで、様々な国や地域の文化を知ることができる講座を実施する。	60人	5年1月14日	セミナールーム
	⑨在住外国人が語る祖国と日本の違い4 (仮)	在住外国人が、祖国の文化を紹介しつつ、日本で暮らしてきて体験したこと、感じたことなどを聞くことができる講座を実施する。	60人	5年3月11日	セミナールーム
	にほんご交流会	外国人と日本人がグループに分かれ、やさしい日本語を使った交流を行う。	未定	未定	未定
国際事業部 広報	国際事業部広報	せたがや国際交流センターの施設案内、国際事業部の事業などを情報発信する。また国際交流活動や地域活動などを実施する団体情報、外国人への生活に役立つ情報なども併せて発信する。 (ウェブサイト、Facebook、Twitter、Instagram、情報ガイド、メールマガジン、ニュースレター)	—	通年	—

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
企画展事業	出版120周年 ピーターラビット™展	世界中で愛される最も有名なうさぎピーターラビット™は、イギリスの挿絵画家ビアトリクス・ポター™によって1902年に生まれた。本展はその生誕120年を記念して企画される。絵手紙、原画、スケッチなど日本初公開となる貴重な作品を英国及びアメリカより借用し、展示する。また、120年にわたって愛されてきた彼の関連資料、グッズなども紹介し、広い世代にわたって人気を誇るその魅力に迫る。当館開催後、全国2会場へ巡回予定。東映株式会社、朝日新聞社ほかとの共催。	36,000人 (総計: 60,000人)	(3月26日) ～6月19日	世田谷美術館
	こぐまちゃんとしろくまちゃん 絵本作家・わかやまけんの世界展	累計発行部数が1000万部を超える大ロングセラー、「こぐまちゃんえほん」シリーズで知られる絵本作家・わかやまけん(若山憲、1930-2015)。その創作の全貌を紹介する、初の回顧展である。少年時代より童画に魅せられた若山が、初めて手掛けた紙芝居から、繊細な表現力をいかした初期絵本作品、明快でグラフィカルな魅力にあふれる「こぐまちゃんえほん」を経て、視覚言語としての「絵」の力を最大限にいかした創作絵本や、民話や詩の世界への挑戦まで、その多彩な創作活動について探る。遺族と出版社の協力を得て、絵本原画や絵本制作の過程で刷られたリトグラフ、雑誌の表紙原画、そのほか関連資料など約230点にて構成し、JR名古屋タカシマヤ、北九州市立美術館分館、ひろしま美術館の3会場を巡回し、当館は最終会場となる。	15,000人	7月2日～ 9月4日	世田谷美術館
	宮城壮太郎展	2011年に60歳の若さで惜しまれつつ亡くなった宮城壮太郎(1951-2011)。宮城は千葉大学を卒業後、浜野商品研究所に就職し、プロダクト・デザイナー、インテリア・デザイナーとしてのキャリアをスタートさせる。東急ハンズ、From 1stなどの商業施設の開発に参加したほか、カメラのデザインなども手掛け、独立後は、一時期世田谷区梅丘に居を構え、デザイナー、デザイン・コンサルタントとして活躍。そのなかでも、もっとも著名な仕事はアスクルで、アスクルの会社設立から関与し、オリジナル商品のほぼすべてをデザインしている。本展覧会では、宮城壮太郎のデザインの仕事の数々を紹介する。	17,000人	9月17日～ 11月13日	世田谷美術館
	祈りの軌跡・藤原新也展	1969年、大学を飛び出してアジア全域を放浪し始め、1972年に『印度放浪』で衝撃的なデビューを飾った写真家・藤原新也(1944-)。本展は、その出版から半世紀という節目に開催する、作家の大回顧展である。作家の出身地にある北九州市立美術館での開催を皮切りに当館に巡回する本展では、シリーズ〈印度放浪〉をはじめ、アジアへの旅にひと区切りをつけたのちに発表したシリーズ〈東京漂流〉、〈メメント・モリ〉などの代表作から、コロナ禍に揺れる東京・渋谷の光景を切り取った最新作まで約200点を紹介する。藤原の写真表現は社会的な問題意識の鋭さとともに、絵画的とすら形容し得る構成美を特徴としており、本展ではその魅力を十全に引き出す。	15,000人	11月26日～ 5年1月29日	世田谷美術館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所 <sup>37</sup>
企画展事業	わたしたちは生きている！ —セタビの森の動物たち	当館のコレクションから、古今東西、様々な手法で表現されたいろいろな動物の作品を一堂に展示する内容。作品に描かれた生命に触れながら、この時代にたくましく、のびのびと想像力豊かに生きることを考える子どもたちのための展覧会。Ⅰ《鳥たちの森》、Ⅱ《暮らしの中の動物》、Ⅲ《ねこ・ネコ・猫！》、Ⅳ《想像の世界の動物》、Ⅴ《思いをのせた動物》、の5つの構成で作品を展示し、併せて来場者が参加できる参加コーナー、対面、オンラインでのイベントを開催する。	9,000人	5年2月11日 ～3月31日	世田谷美術館
調査・研究	調査・研究  ①企画展	次年度以降の企画展の立案・具体化のため、国内外各所との交渉や基礎的な調査研究を行う。	—	通年	世田谷美術館
	②収蔵品等 [指定管理]	収蔵品及び美術館活動に係る調査・研究を行う。学芸員による調査研究成果を『紀要』として編集発行し、美術研究に資する。	350冊	通年	世田谷美術館及び分館
	アーカイブ [指定管理]	本年度の事業のまとめとして『年報』を編集発行し、美術館活動を総括し、記録する。	300冊	通年	世田谷美術館
収蔵品展	美術館 ミュージアム コレクション [指定管理]	世田谷美術館の収蔵作品を、テーマを設定して公開する。 第Ⅲ期 ART/MUSIC わたしたちの創作は音楽とともにある	30,000人	(12月4日)～ 4月10日	世田谷美術館
		第Ⅰ期 美術家たちの沿線物語 大井町線・目黒線・東横線篇		4月23日～ 7月24日	世田谷美術館
		第Ⅱ期 (未定)		8月6日～ 11月20日	世田谷美術館
		第Ⅲ期 (未定)		12月3日～ (5年4月9日)	世田谷美術館
	向井潤吉アトリエ館収蔵品展 [指定管理]	向井潤吉作品にかかわる作品展を年2回実施する。 第Ⅰ期 暮らしの気配——向井潤吉が描いた民家と生活 第Ⅱ期 向井潤吉の民家紀行——一期一会の風景	8,100人	4月1日～ 9月11日  10月1日～ 5年3月12日	向井潤吉アトリエ館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所 <sup>38</sup>
収蔵品展	清川泰次記念ギャラリー収蔵品展 [指定管理]	清川泰次作品にかかわる作品展を年2回実施する。 第Ⅰ期 清川泰次 白と線の時代	2,420人	4月1日～ 9月11日	清川泰次記念ギャラリー
		第Ⅱ期 清川泰次 色をめぐって		10月1日～ 5年3月12日	
	宮本三郎記念美術館収蔵品展 [指定管理]	宮本三郎作品にかかわる作品展を年2回実施する。 第Ⅰ期 宮本三郎 西洋の誘惑	3,600人	4月1日～ 9月11日	宮本三郎記念美術館
		第Ⅱ期 宮本三郎と「日本」		10月1日～ 5年3月12日	
資料収集・管理	資料収集 [指定管理]	貴重な美術作品及び美術に関する資料を、世田谷区民の文化的財産として蓄積していくため、区と共に収集委員会条例に基づき、美術品等を収集する。現在、作品の購入はないが、作家本人や区民から寄贈の申し出があり、収集する機会が生ずる。これらの機会を的確にとらえ調査を行い、収集委員会への提案に結び付けていく。	—	通年	世田谷美術館及び分館
	作品保管整理 [指定管理]	収蔵品を保管・整理し、いつでも展示・公開できるように作品のコンディションを良い状態に保つ。問題が生じた作品は修復や額装改善などの処置を施す。作品のデータについては収蔵品管理システムを活用し、一括管理する。また、収蔵品の公開の機会を増やすため、貸付要領に基づき作品の貸出を行う。	—	通年	世田谷美術館及び分館
アートライブ ラリーの運営	アートライブラリーの運営 [指定管理]	世田谷美術館が所蔵している美術専門書の閲覧やビデオの視聴、またレファレンスサービス等による情報提供を行う。	12,000人	通年	世田谷美術館
ワークショップ・講座	講座・ワークショップ	新型コロナウイルスが収束していない可能性を考慮しながら、美術と創造の普及を目的とした各種講座、企画展に関連した講座、子どもから大人まで幅広い年齢層を対象とした単独開催形式の講座を開催する。どなたでも気軽に参加できる100円ワークショップ、実技の体験を目的とした講座や小中学生を対象に連続した実技と講義で美術を学ぶ講座を開催する。また、ギャラリートーク・講演会・ワークショップ・コンサート、ホームページからの動画配信など様々な普及活動を行う。	1,545人	通年	世田谷美術館及び分館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所 <sup>39</sup>
ワークショップ・講座	美術大学	長期の本科または小人数を対象とした講義・実技を組み合わせた短期セミナーを開催。その他、ホームページからの動画配信などを通じての通信講座を引き続き開催する。また修了者を対象としたステップアップ講座も規模を縮小して開催する。	120人	通年	世田谷美術館
	パフォーマンス ①プロムナード・コンサート	美術館を音楽による交流の場とするとともに、若手音楽家の育成を図ることを目的に、実力ある若手を中心とする音楽家によるリサイタル形式のコンサートを行う。	80人	年2回	世田谷美術館
	②パフォーマンス等イベント	当館の建築空間を活かし、アーティストの創造支援等を実施する。新型コロナウイルスが収束していない可能性を考慮し、単発のイベントや、オンライン配信を併用した小規模企画を行う。	100人	年1回	世田谷美術館
子どもと学校プログラム	美術鑑賞教室	世田谷区教育委員会との連携により、世田谷区立の小学校4年生の児童、中学校の生徒を対象に、展覧会及び美術館内の施設見学を実施する。また特別プログラムでは、当館インターンによる区立小学校への出張授業を行う。(美術鑑賞教室は小中学校全90校)	17,300人	通年	世田谷美術館他
人材育成プログラム	学校との連携	学芸員後継者育成と美術館諸活動の普及のために、博物館学実習の講義、実習を行う。(8日間) 長年の実績がある学芸大学インターン生を育成し、美術鑑賞教室で来館する区内小学校4年生への事前(事後)出張授業を行う特別プログラムを実施(小学校希望校約30校を予定)。 区内の各地域や学校と連携、コラボレーションし、世田谷美術館のコレクションを活用したワークショップや創作活動を実施する。 今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため従来の活動を大幅に改定する必要があり、リモートで実施可能な普及活動の展開も行っていく。	40人	通年	世田谷美術館、区内小中学校、大学他
アクセシビリティ向上事業	アクセシビリティ向上事業	展覧会に関連した講演会において、より良い理解を目的として、手話通訳を手配し、配置する。	10人	通年	世田谷美術館
	ミュージアム・セッション	視覚障害者と聴覚者がともに美術を鑑賞し、豊かなコミュニケーションを育むという新しい実践及び研究に関する講演会等をオンラインで配信する。海外の事例のみならず国内の事例の紹介も行っていく。	100人	年1回	世田谷美術館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所 <sup>40</sup>
区民の表現の場の提供	区民展	世田谷区もしくは川場村在住・在勤・在学者を対象に、作品の募集を行い、区民ギャラリーにて展示する。	250人	10月～5年1月	世田谷美術館
	区民ギャラリー等の貸出 [指定管理]	世田谷美術館及び清川泰次記念ギャラリーにおいて、創作活動発表の場として区民ギャラリーの貸出を行う。	75,000人	通年	世田谷美術館
	①美術館(本館)区民ギャラリー	創作活動発表の場として、世田谷美術館の区民ギャラリーA・B貸出を行う。			
	②美術館(本館)講堂	文化・芸術に関する活動・発表の場として、美術館活動に支障のない範囲で世田谷美術館の講堂貸出を行う。			
③清川泰次記念ギャラリー区民ギャラリー	創作活動発表の場として、清川泰次記念ギャラリーの区民ギャラリー貸出を行う。	4,000人	通年	清川泰次記念ギャラリー	
地域活性のための文化芸術事業	ボランティア活動	世田谷区立小学校鑑賞教室及び出張授業、中学校鑑賞教室、川場村小学校出張授業、ミュージアム・ツアー、ワークショップ、イベント等の支援を行う。	250人	通年	世田谷美術館他
美術館広報	美術館広報	当館ウェブサイトや印刷物のほか、マスコミ等の媒体への情報提供を通じて、館の活動や事業予定・内容等について広く区民等へ発信する。	—	通年	—
	ニュースレター(美術館だより、友の会だより)等の発行	ニュースレター(美術館だより、友の会だより。年3回、6月・10月・5年2月発行、各1,500部)、年間予定表(5年3月発行、50,000部)の発行を行う。	54,500部	6月、10月 5年2月、3月	—

## (6)世田谷文学館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
企画展事業	ヨシタケシンスケ展かもしれない	<p>2013年のデビュー作『りんごかもしれない』が大ヒットし、一躍絵本界の寵児となったヨシタケシンスケ氏(1973～)。日常の些細なできごとをユーモアあふれるタッチで描きながらも、素朴な疑問から想像力を膨らませ、哲学的な思考にまで発展していく手法が、子どものみならず大人の心も捉えている。ヨシタケ作品に通底している「新たなモノの見方を見つけよう」というメッセージは、想像力を働かせることで、この困難な社会にも限らない可能性を発見できるということを示唆してくれる。</p> <p>本展はヨシタケ氏の初の大規模展覧会で、当館を皮切りとして全国巡回が予定されている。発想の源である小さなスケッチや絵本原画、本展のためにヨシタケ氏本人が考案した立体物などの展示により、作家の頭の中に迫る。あわせて来場者が能動的に参加できるような仕組みを取り入れ、「新たな視点を見つけるちから」を持ち帰ることを目指す。</p>	24,400人	4月9日～ 7月3日	世田谷文学館
	漫画家・山下和美 ライフ・イズ・ビューティフル展(仮称)	<p>大学教授だった父親をモデルにした『天才柳沢教授の生活』、マーク・トウエインの同名小説に着想を得た『不思議な少年』、そして民俗学とSFの要素を織り交ぜた『ランド』(令和3年度手塚治虫文化賞受賞)などの作品で知られる漫画家・山下和美氏。デビューは少女漫画誌だったが、その後青年漫画誌に活躍の場を移し、男女問わず幅広いファンを獲得している。</p> <p>画業40年を超え、『数寄です!』、『世田谷イチ古い洋館の家主になる』など自宅のある世田谷を舞台にしたエッセイ漫画も進行中。ますます注目を集める区内在住漫画家の仕事を、直筆原稿ほか関連資料で紹介する。</p>	5,000人	7月30日～ 9月4日	世田谷文学館
	朔太郎大全2022 萩原朔太郎展(仮称)	<p>鋭い感性と孤独、生の倦怠や憂鬱を鮮やかなイメージと口語のリズムにのせた『月に吠える』『青猫』などの詩集で、口語自由詩を確立した詩人・萩原朔太郎(1886-1942)。「人は一人一人では、いつも永久に、永久に、恐ろしい孤独である」(『月に吠える』「序」より)と書いた朔太郎の詩は、世代や立場による分断が進み、気づけば一人一人が孤立を余儀なくされている現代の私たちに鋭く、強く迫ってくる。</p> <p>本展では朔太郎の原稿・ノート、遺愛品などのほか、ムットーニによるからくり作品や様々な世代が楽しめる詩の体験型展示などを通して、孤独な心を人々に共有させる「詩」の力をあらためて見つめ直す。</p> <p>没後80年を記念し、全国で横断的に催される「朔太郎大全2022」の一環として、朔太郎終焉の地である世田谷ならではの独自企画で実施する。</p>	10,000人	10月1日～ 5年2月5日	世田谷文学館
調査・研究	調査・研究 [指定管理]	文学館活動の基盤となる収蔵コレクション及び世田谷ゆかりの作家・ゆかりの作品の調査・研究を行う。コレクション展にもその内容を活用する。	—	通年	世田谷文学館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所 <sup>42</sup>
収蔵品展	コレクション展 [指定管理]	文学館が収蔵する貴重な文学資料を核に、世田谷を舞台にした文学作品の関連資料とゆかりの文学者の資料を展示し、区民に広く親しむ機会を提供する。令和4年度前期は10万点の収蔵品の中から特色あるコレクションを紹介する「セタブン大コレクション展PARTⅡ 山ありてわが人生は楽し」を、前年度の「PARTⅠ」から引き続いて開催する。後期は企画展「萩原朔太郎展」と関連づけ、下北沢ゆかりの作家と作品をテーマに展覧する。	15,000人	4月9日～ 5年3月31日	世田谷文学館
資料収集・管理	資料収集・管理 [指定管理]	世田谷ゆかりの作家や区民等からの寄贈・寄託により、文学資料等の収集を行う。世田谷区が所有している作品を系統的に整理するとともに、良好な状態で保存・展示するため保管管理し、計画的に調査を進める。保管環境の維持・向上のため、展示室・収蔵庫および周辺部の環境確認のための環境調査のモニタリングを年間を通じて実施する。今年度は隔年実施の収蔵庫燻蒸を行う。災害等緊急時のコレクション保護のための環境整備を行う。また、貸付要領に基づき、コレクションの貸付を行う。逼迫した課題である収蔵庫狭小化対応のため引き続き収蔵資料の保管場所の見直しと保管場所確保のための2階3階両収蔵庫の整理作業を行う。	—	通年	世田谷文学館
OAシステム	OAシステムの運用 [指定管理]	世田谷文学館の収蔵資料を適切に管理し、活用・公開を促進するために収蔵品管理システムの管理運営を行う。またホームページ上での主要収蔵資料の検索サービスに関しても、その内容を段階的に拡充する。	—	通年	世田谷文学館
地域連携事業	どこでも文学館	「いつでも、どこでも、だれでも参加できる博物館」というコンセプトのもと、館内では、オンラインも活用し子ども向けワークショップやワークシート制作などのプログラムを開発、実施する。館外では、学校や地域と連携しながら写真展や文学作品のパネルなどの出張展示・出張ワークショップを実施する。出張展示キットを広く全国を対象に貸し出す。(出張展示30回、ワークショップ延べ6回を実施予定)。	60,000人	通年	世田谷文学館、区内小中学校、区民センター、川場村など
	幼保連携事業 [区受託]	世田谷区教育委員会の「世田谷区幼児教育・保育推進ビジョン」の基本方針の一つである「文化・芸術とふれあうための各園等における環境づくり支援」の一環として、乳幼児を対象とした文化・芸術体験のアウトリーチ事業と連携するため、世田谷文学館が制作した出張展示用バナーセットの展示を、当委員会から委託を受け実施する。	200人	通年	区内幼稚園・保育園など
講演会等事業	企画展・コレクション展、ライブラリー関連講演会、上映会、コンサート等事業	企画展・コレクション展やライブラリー事業と連動したトークイベント、講座、コンサート、上映会、ワークショップなどを実施し、乳幼児も含めた幅広い層の来場者に文学館のさまざまな楽しみ方を提案するオンラインイベントも継続で実施し、新規の利用者の参加にもつなげる。	2,000人	通年	世田谷文学館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所 <sup>43</sup>
講演会等 事業	セタブンマーケット2022・地域連携催事	書物との新たな出会いと多様な楽しみ方を発信する、本と雑貨の蚤の市。作家・デザイナー・編集者からの特別出品や、子どもも楽しめるミニワークショップなど、世田谷文学館独自の内容で実施。また「萩原朔太郎展」に関連して、作家ゆかりの地域・下北沢商店街との連携催事も開催する。(新型コロナウイルスの拡大状況を見ながら規模・内容を検討)	2,000人	6月・10月	世田谷文学館
活動支援・共 催事業	市民活動・友の会の支援など	友の会をはじめ、文学活動を中心とする区内外の団体の講座や活動を支援し、市民の生涯学習の要望に応える。	500人	通年	世田谷文学館他
人材育成 プログラム	学芸員実習	学芸員後継者育成のために、博物館学実習の講義・実習を行う。(6日間)	5人以内	7月～8月	世田谷文学館
	職場体験などの受入	参加者は博物館の仕事全般を学び、事業の企画や実施にも直接携わることができるプログラムで、近隣の中学校などから希望があれば職場体験を受け入れる。(コロナ禍での職場体験の代替処置として、施設見学またはオンライン見学・インタビュー等でも受け入れる)	30人	通年	世田谷文学館
ライブラリー の運営	ライブラリー「ほんとう」の運営 [指定管理]	授乳室などのベビーケア設備を備えた子どものための本のエリアや、各分野で活躍するプロフェッショナル、作家が薦める本のコーナーなど、書物との新たな出会いと多様な楽しみ方を提案し、地域のための図書空間を企画・運営する。3階閲覧室においては、収蔵している閉架資料の閲覧サービスを行う。	15,000人	通年	世田谷文学館
文学館広報	文学館広報	ホームページや印刷物のほか、マスコミ等の媒体への情報提供を通じて、館の活動や事業予定・内容等について広く区民等へ発信する。 ホームページ、SNS、動画配信等による情報発信の充実を図る。	—	通年	—
	ホームページコンテンツ制作 「ほんとうラジオ」放送 文学館ニュースの発行	文学館の事業活動を広く周知するため、ホームページコンテンツの制作、文学館ゆかりのゲストを招いたトーク番組「ほんとうラジオ」の放送、文学館ニュースを年2回発行する。	放送26回 各10,000部	通年	—

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
来館者サポート	来館者サポート	様々な状況にあるお客様の参加機会を増やすために、公演などにおいて来館者サポートを行う。	—	通年	—
		生活工房 ①車椅子の貸出 ②授乳室の利用など  世田谷パブリックシアター ①託児サービス ②車椅子サービス(貸出、スペースの確保、車椅子昇降機など) ③視覚障害者のための音声案内システム付き化粧室の設置 ④視覚障害者のための舞台説明会(主催公演のみ) ⑤補助犬を伴っての観劇(スペースの確保など) ⑥聞こえにくい方向けのヒアリングサポートシステム(特定の公演のみ) ⑦聴覚障害者のための上演台本貸出 ⑧聴覚障害者のための手話動画(劇場HP)によるアクセス案内及びチケット購入方法等の案内 ⑨聴覚障害者のための筆談具設置 ⑩多言語字幕付き上演(特定の公演のみ) ⑪多言語情報発信 ⑫非常時の避難方法及び広域避難場所への地図の配布など			
来館者サポート		美術館 ①講演会での手話通訳 ②車椅子の貸出 ③ベビーカーの貸出 ④授乳室の利用など			
		文学館 ①車椅子の貸出 ②ベビーカーの貸出 ③授乳室の利用 ④託児サービスの実施など			
	せたがやアーツカード	世田谷区民を対象とする会員制度。主に財団主催の公演チケットの割引・先行発売や展覧会チケットの割引などの特典により、財団事業や施設利用者の拡大を図る。会員向けのメールマガジン発行による情報提供を行う。	登録者数 18,000人	通年	—

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所 <sup>45</sup>
財団広報	財団広報	財団ホームページ等により、財団及び事業内容等を紹介する。	—	通年	—
	せたがや文化・スポーツ情報ガイドの発行	財団各部の事業内容等を広く区民等に周知するため、(公財)世田谷区スポーツ振興財団と共同で毎月25日にタブロイド判の情報紙を発行、区内施設での配架の他、区報に同冊し新聞(6紙)折り込み配布も行う。	毎月 202,600部	通年	—
文化芸術の拠点施設の管理運営	世田谷文化生活情報センターの施設維持管理 [指定管理]	世田谷文化生活情報センター施設維持管理、主劇場、小劇場、生活工房セミナールーム、ワークショップルーム等の貸出を行う。	—	通年	世田谷文化生活情報センター
	世田谷美術館及び分館の施設維持管理 [指定管理]	世田谷美術館及び3分館(向井潤吉アトリエ館、清川泰次記念ギャラリー、宮本三郎記念美術館)の施設維持管理、区民ギャラリー及び講堂の貸出を行う。	—	通年	世田谷美術館及び分館
	世田谷文学館の施設維持管理 [指定管理]	世田谷文学館の施設維持管理、講義室の貸出を行う。	—	通年	世田谷文学館
物品販売事業	パブリックシアター関連商品の販売	世田谷パブリックシアターとシアターラムで上演された公演のパンフレットや映像化したDVD等の関連商品を、劇場やオンラインショップにて販売する。	—	通年	世田谷文化生活情報センター
	美術館ミュージアムショップの運営	美術館・分館のミュージアムショップを運営する。収蔵作品をモチーフとしたオリジナルグッズ・絵葉書等の開発・制作及び販売、また企画展開催時における関連グッズ・絵葉書・書籍等の販売を行う。	—	通年	世田谷美術館及び分館
	文学館ミュージアムショップの運営	ミュージアムショップを運営する。オリジナルグッズの開発・制作及び販売、展覧会に関連した書籍や絵葉書等のグッズの販売を行う。	—	通年	世田谷文学館
飲食物提供事業	パブリックシアターのロビーカフェの運営	世田谷パブリックシアターのロビーのカフェを委託により運営する。	10,000人	通年	世田谷文化生活情報センター
	美術館のレストランの運営	世田谷美術館内のレストラン「ル・ジャルダン」を委託により運営する。	20,000人	通年	世田谷美術館
	美術館のカフェの運営	世田谷美術館内のカフェ「セタビカフェ」を委託により運営する。	30,000人	通年	世田谷美術館

※新型コロナウイルスの今後の状況次第で変更や中止となる場合があります。





## 収支予算書

## 1. 収支予算(損益計算書ベース)

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	令和4年度a	令和3年度b	増減a-b
I 一般正味財産の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,631,000	4,268,000	△ 1,637,000
基本財産運用益	2,631,000	4,268,000	△ 1,637,000
特定資産運用益	944,000	967,000	△ 23,000
特定資産運用益	944,000	967,000	△ 23,000
事業収益	1,230,508,000	1,212,882,000	17,626,000
事業運営収益	671,404,000	655,894,000	15,510,000
区事業等受託収益	559,104,000	556,988,000	2,116,000
受取区補助金	1,345,167,000	1,313,670,000	31,497,000
受取区補助金	1,345,167,000	1,313,670,000	31,497,000
受取助成金等	170,823,000	144,240,000	26,583,000
受取助成金等	170,823,000	144,240,000	26,583,000
受取寄附金等	1,000,000	500,000	500,000
受取寄附金等	1,000,000	500,000	500,000
受取負担金	12,645,000	16,288,000	△ 3,643,000
受取負担金	12,645,000	16,288,000	△ 3,643,000
雑収益	126,000	165,000	△ 39,000
受取利息	126,000	165,000	△ 39,000
経常収益計	2,763,844,000	2,692,980,000	70,864,000
(2) 経常費用			
事業費	2,824,524,000	2,730,033,000	94,491,000
給料手当等	851,351,000	836,125,000	15,226,000
退職給付費用	29,223,000	26,165,000	3,058,000
交際費	434,000	432,000	2,000
式典費	1,037,000	665,000	372,000
会議費	837,000	786,000	51,000
旅費交通費	6,511,000	8,331,000	△ 1,820,000
通信運搬費	13,381,000	14,519,000	△ 1,138,000
消耗経費	35,745,000	38,568,000	△ 2,823,000
印刷製本費	45,818,000	35,641,000	10,177,000
保険料	6,102,000	4,806,000	1,296,000
修繕費	31,417,000	25,420,000	5,997,000
光熱水費	10,184,000	10,180,000	4,000
諸謝金	44,132,000	41,904,000	2,228,000
支払負担金	31,139,000	51,006,000	△ 19,867,000
委託費	864,957,000	827,497,000	37,460,000
使用料及び賃借料	59,748,000	61,117,000	△ 1,369,000
支払手数料	22,173,000	19,518,000	2,655,000
広報宣伝費	88,999,000	77,686,000	11,313,000
臨時雇賃金	92,137,000	82,730,000	9,407,000
上演出演料	282,431,000	295,439,000	△ 13,008,000
舞台費	170,758,000	152,023,000	18,735,000
制作企画費	70,430,000	72,803,000	△ 2,373,000
減価償却費	36,917,000	27,935,000	8,982,000
商品仕入	8,910,000	5,115,000	3,795,000
租税公課	19,753,000	13,622,000	6,131,000

科 目		令和4年度a	令和3年度b	増減a-b
	管理費	9,239,000	16,666,000	△ 7,427,000
	報酬	5,672,000	13,023,000	△ 7,351,000
	給料手当等	1,996,000	2,087,000	△ 91,000
	退職給付費用	750,000	671,000	79,000
	通信運搬費	113,000	50,000	63,000
	消耗経費	8,000	11,000	△ 3,000
	保険料	15,000	30,000	△ 15,000
	委託費	324,000	270,000	54,000
	使用料及び賃借料	△ 318,000	18,000	△ 336,000
	減価償却費	679,000	506,000	173,000
	経 常 費 用 計	2,833,763,000	2,746,699,000	87,064,000
	他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 69,919,000	△ 53,719,000	△ 16,200,000
	法人税、都民税及び事業税	590,674	565,114	25,560
	当期一般正味財産増減額	△ 70,509,674	△ 54,284,114	△ 16,225,560
	一般正味財産期首残高	697,763,705	661,563,719	36,199,986
	一般正味財産期末残高	627,254,031	607,279,605	19,974,426
II	指定正味財産の部			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	805,844,000	800,000,000	5,844,000
	指定正味財産期末残高	805,844,000	800,000,000	5,844,000
III	正味財産期末残高	1,433,098,031	1,407,279,605	25,818,426

※ 令和4年度一般正味財産期首残高及び指定正味財産期首残高は、令和2年度期末の実績額と令和3年度の見込額に基づいて算出しているため、本表における令和3年度一般正味財産期末残高及び指定正味財産期末残高とは一致しない。なお、令和4年度一般正味期首残高及び指定正味期首残高を令和3年度予算の一般正味期末残高及び指定正味期末残高とした表は下記の通り。

科 目		令和4年度a	令和3年度b	増減a-b
	当期一般正味財産増減額	△ 70,509,674	△ 54,284,114	△ 16,225,560
	一般正味財産期首残高	607,279,605	661,563,719	△ 54,284,114
	一般正味財産期末残高	536,769,931	607,279,605	△ 70,509,674
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	800,000,000	800,000,000	0
	指定正味財産期末残高	800,000,000	800,000,000	0

## 2. 収支予算内訳表(損益計算書ベース)

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計		
	公1	公2	小計
	文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業	市民活動の支援 及び 振興に関する事業	
I 一般正味財産の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0
特定資産運用益	944,000	0	944,000
特定資産運用益	944,000	0	944,000
特定資産運用益	944,000	0	944,000
事業収益	1,182,276,000	340,000	1,182,616,000
事業運営収益	623,172,000	340,000	623,512,000
事業運営収益	623,172,000	340,000	623,512,000
区事業等受託収益	559,104,000	0	559,104,000
指定管理受託収益	505,151,000	0	505,151,000
区事業受託収益	53,953,000	0	53,953,000
受取区補助金	1,288,317,000	52,498,000	1,340,815,000
受取区補助金	1,288,317,000	52,498,000	1,340,815,000
受取区補助金	1,288,317,000	52,498,000	1,340,815,000
受取助成金等	170,823,000	0	170,823,000
受取助成金等	170,823,000	0	170,823,000
受取助成金	170,823,000	0	170,823,000
受取寄附金等	1,000,000	0	1,000,000
受取寄附金等	1,000,000	0	1,000,000
受取寄附金	1,000,000	0	1,000,000
受取負担金	6,374,000	0	6,374,000
受取負担金	6,374,000	0	6,374,000
受取負担金	6,374,000	0	6,374,000
雑収益	126,000	0	126,000
受取利息	126,000	0	126,000
受取利息	126,000	0	126,000
経常収益計	2,649,860,000	52,838,000	2,702,698,000

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
0	0	0	2,631,000		2,631,000
0	0	0	2,631,000		2,631,000
0	0	0	2,631,000		2,631,000
0	0	0	0		944,000
0	0	0	0		944,000
0	0	0	0		944,000
44,247,000	3,645,000	47,892,000	0		1,230,508,000
44,247,000	3,645,000	47,892,000	0		671,404,000
44,247,000	3,645,000	47,892,000	0		671,404,000
0	0	0	0		559,104,000
0	0	0	0		505,151,000
0	0	0	0		53,953,000
0	0	0	4,352,000		1,345,167,000
0	0	0	4,352,000		1,345,167,000
0	0	0	4,352,000		1,345,167,000
0	0	0	0		170,823,000
0	0	0	0		170,823,000
0	0	0	0		170,823,000
0	0	0	0		1,000,000
0	0	0	0		1,000,000
0	0	0	0		1,000,000
336,000	5,935,000	6,271,000	0		12,645,000
336,000	5,935,000	6,271,000	0		12,645,000
336,000	5,935,000	6,271,000	0		12,645,000
0	0	0	0		126,000
0	0	0	0		126,000
0	0	0	0		126,000
44,583,000	9,580,000	54,163,000	6,983,000		2,763,844,000

科 目		公益目的事業会計		
		公1	公2	小計
		文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業	市民活動の支援 及び 振興に関する事業	
(2) 経常費用				
事業費		2,720,960,000	53,174,000	2,774,134,000
給料手当等		813,534,000	36,631,000	850,165,000
退職給付費用		29,223,000	0	29,223,000
交際費		424,000	10,000	434,000
式典費		1,037,000	0	1,037,000
会議費		837,000	0	837,000
旅費交通費		6,411,000	100,000	6,511,000
通信運搬費		12,046,000	249,000	12,295,000
消耗経費		33,187,000	1,853,000	35,040,000
印刷製本費		45,567,000	51,000	45,618,000
保険料		5,996,000	106,000	6,102,000
修繕費		30,917,000	500,000	31,417,000
光熱水費		3,930,000	0	3,930,000
諸謝金		43,089,000	1,043,000	44,132,000
支払負担金		30,729,000	410,000	31,139,000
委託費		827,253,000	10,290,000	837,543,000
使用料及び賃借料		56,506,000	746,000	57,252,000
支払手数料		20,543,000	0	20,543,000
広報宣伝費		88,786,000	209,000	88,995,000
臨時雇賃金		91,058,000	929,000	91,987,000
上演出演料		282,431,000	0	282,431,000
舞台費		170,758,000	0	170,758,000
制作企画費		70,430,000	0	70,430,000
減価償却費		36,518,000	47,000	36,565,000
商品仕入		0	0	0
租税公課		19,750,000	0	19,750,000

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
43,630,000	6,760,000	50,390,000			2,824,524,000
1,006,000	180,000	1,186,000			851,351,000
0	0	0			29,223,000
0	0	0			434,000
0	0	0			1,037,000
0	0	0			837,000
0	0	0			6,511,000
980,000	106,000	1,086,000			13,381,000
655,000	50,000	705,000			35,745,000
200,000	0	200,000			45,818,000
0	0	0			6,102,000
0	0	0			31,417,000
241,000	6,013,000	6,254,000			10,184,000
0	0	0			44,132,000
0	0	0			31,139,000
27,414,000	0	27,414,000			864,957,000
2,371,000	125,000	2,496,000			59,748,000
1,630,000	0	1,630,000			22,173,000
0	4,000	4,000			88,999,000
150,000	0	150,000			92,137,000
0	0	0			282,431,000
0	0	0			170,758,000
0	0	0			70,430,000
70,000	282,000	352,000			36,917,000
8,910,000	0	8,910,000			8,910,000
3,000	0	3,000			19,753,000

科 目		公益目的事業会計		
		公1	公2	小計
		文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業	市民活動の支援 及び 振興に関する事業	
	管理費			
	報酬			
	給料手当等			
	退職給付費用			
	通信運搬費			
	消耗経費			
	保険料			
	委託費			
	使用料及び賃借料			
	減価償却費			
	経常費用計	2,720,960,000	53,174,000	2,774,134,000
	他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 71,100,000	△ 336,000	△ 71,436,000
	他会計振替額	1,804,087	0	1,804,087
	法人税、都民税及び事業税	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	△ 69,295,913	△ 336,000	△ 69,631,913
	一般正味財産期首残高	561,054,953	54,444	561,109,397
	一般正味財産期末残高	491,759,040	△ 281,556	491,477,484
II	指定正味財産の部			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	0	0	0
	指定正味財産期末残高	0	0	0
III	正味財産期末残高	491,759,040	△ 281,556	491,477,484

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
			9,239,000		9,239,000
			5,672,000		5,672,000
			1,996,000		1,996,000
			750,000		750,000
			113,000		113,000
			8,000		8,000
			15,000		15,000
			324,000		324,000
			△ 318,000		△ 318,000
			679,000		679,000
43,630,000	6,760,000	50,390,000	9,239,000		2,833,763,000
953,000	2,820,000	3,773,000	△ 2,256,000		△ 69,919,000
△ 455,712	△ 1,348,375	△ 1,804,087	0		0
149,186	441,488	590,674	0		590,674
348,102	1,030,138	1,378,239	△ 2,256,000		△ 70,509,674
115,972,052	14,449,554	130,421,606	6,232,702		697,763,705
116,320,154	15,479,692	131,799,845	3,976,702		627,254,031
0	0	0	0		0
0	0	0	805,844,000		805,844,000
0	0	0	805,844,000		805,844,000
116,320,154	15,479,692	131,799,845	809,820,702		1,433,098,031



## その他の付属書類

## 資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

### (1) 資金調達の見込みについて

借入の予定		あり	○	なし
事業番号	借入先	金額	用途	

### (2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		あり	○	なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の用途	

令和4年3月31日発行

**公益財団法人 せたがや文化財団**

世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー5F

TEL 03(5432)1501 FAX 03(5432)1559

MAIL jimukyoku@setagaya-ac.net

URL <https://www.setagaya-bunka.jp/>

\*この冊子はリサイクルできます